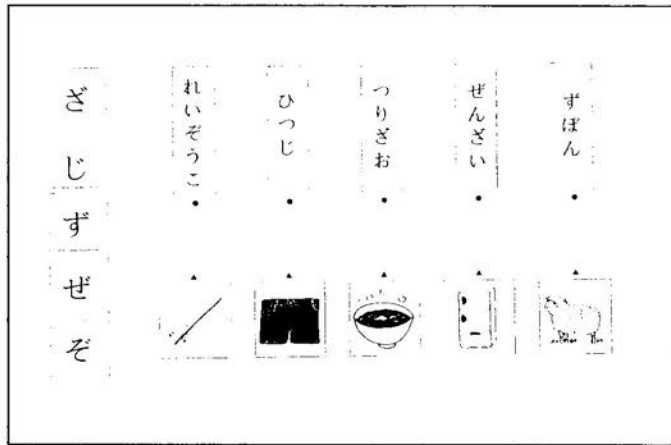


すくすくどんどん 総合版7

解答

教育デザイン研究所



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ざ」「じ」「ず」「ぜ」「ぞ」

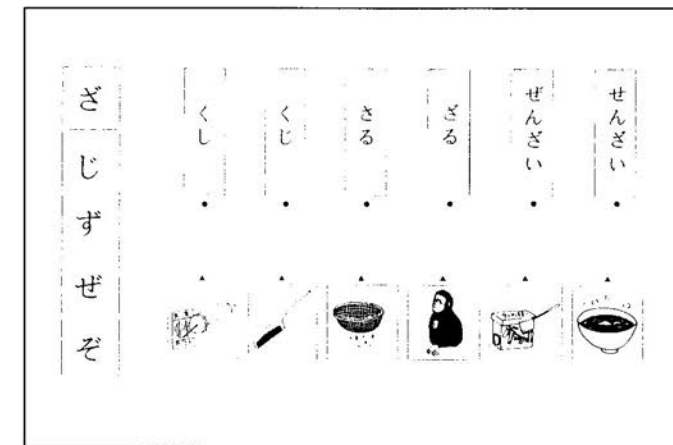
1. 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことばで、「ざ」のつくものに、赤の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ざ」にも、赤の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことばで、最後に「じ」がつくものに、青の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「じ」にも、青の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことばで、最初に「ず」がつくものに、緑の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ず」にも、緑の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことばで、最初に「ぜ」のつくものに、茶色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぜ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことばで、「ぞ」のつくものに、紫の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぞ」にも、紫の○をつけておきましょう。

【解答】

- 1.
2. つりざお・ぜんざい
3. ひつじ
4. ずぼん
5. ぜんざい
6. れいぞうこ

【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。



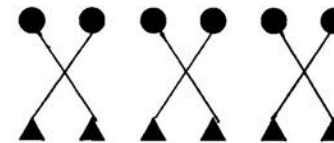
【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ざ」「じ」「ず」「ぜ」「ぞ」

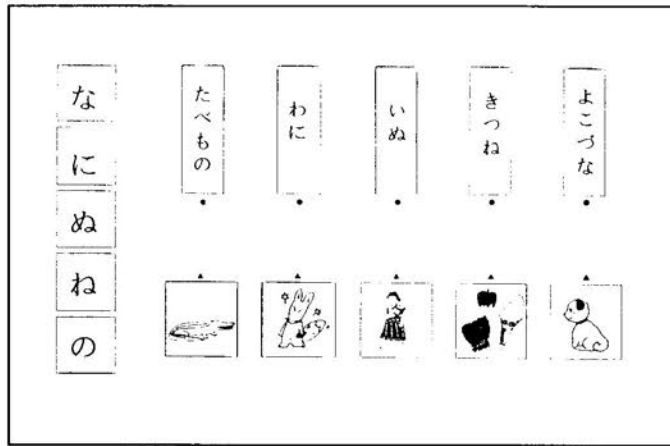
- 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
「^ろ」に気をつけて、まちがえないように選んで下さい。

【解答】



【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。



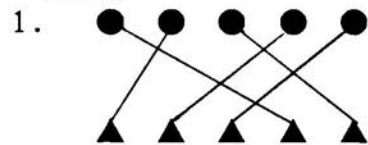
【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「な」「に」「ぬ」「ね」「の」

1. 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことばで、「な」で終わるものに、青の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「な」にも、青の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことばで、「に」で終わるものに、緑の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「に」にも、緑の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことばで、「ぬ」で終わるものに、茶色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぬ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことばで、「ね」で終わるものに、黄色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ね」にも、黄色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことばで、「の」で終わるものに、黒の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「の」にも、黒の○をつけておきましょう。

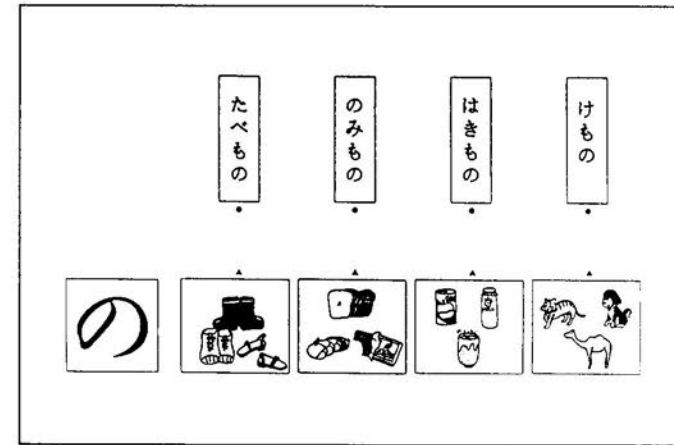
【解答】



2. よこづな
3. わに
4. いぬ
5. きつね
6. たべもの

【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

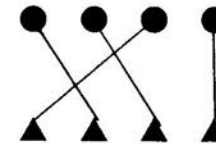


【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。「の」）

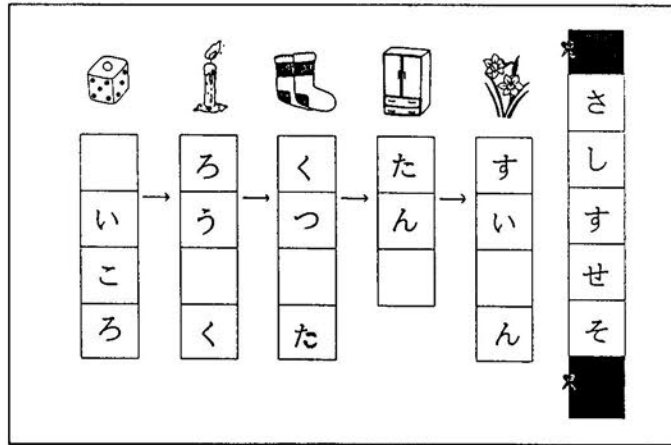
上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。

【解答】



【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。



【問題】

1. 右側のひらがなを読んで下さい。このひらがなの部分を、はさみの絵がある線から切りとって、1枚ずつ切りはなしましょう。
2. しりとりになるように、あいているところに切りとったひらがなのカードをはりましょう。
3. (できあがったら) 左側から順に、ことばを読んで下さい。

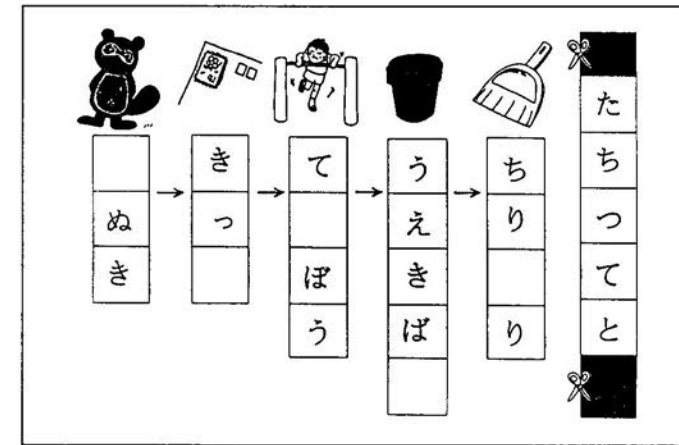
【解答】

(左から順に)

さいころ、ろうそく、くつした、たんす、すいせん

【指導のポイント】

中期(6号～10号)の言語ページでは、このような文字カードを切ってはりつけるという作業形式で、もう一度ひらがな50音を学習します。
はさみが正しく使えているかどうか、チェックしてあげて下さい。



【問題】

1. 右側のひらがなを読んで下さい。このひらがなの部分を、はさみの絵がある線から切りとって、1枚ずつ切りはなしましょう。
2. しりとりになるように、あいているところに切りとったひらがなのカードをはりましょう。
3. (できあがったら) 左側から順に、ことばを読んで下さい。

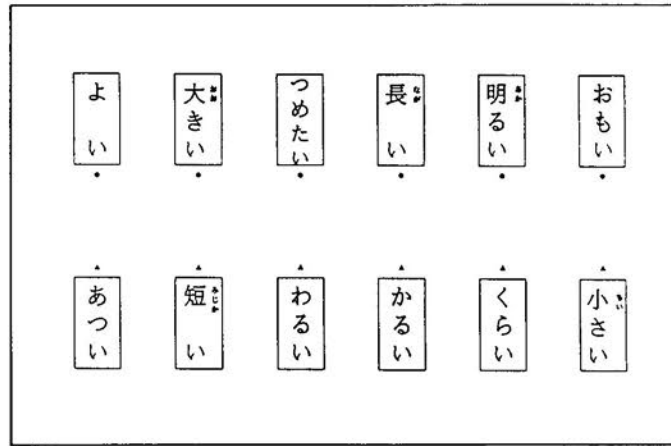
【解答】

(左から順に)

たぬき、きって、てつぼう、うえきばち、ちりとり

【指導のポイント】

中期(6号～10号)の言語ページでは、このような文字カードを切ってはりつけるという作業形式で、もう一度ひらがな50音を学習します。
はさみが正しく使えているかどうか、チェックしてあげて下さい。



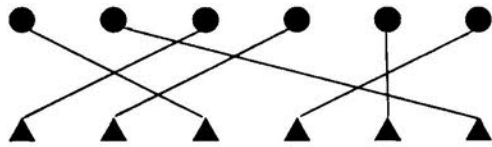
【問題】

(ことばを1つずつ読んで、復唱させて下さい。)

「よい」「大きい」・・・「くらい」「小さい」)

上の段のことばと反対の意味のことばを、下の段から選んで、●と▲を青の線でむすんで下さい。

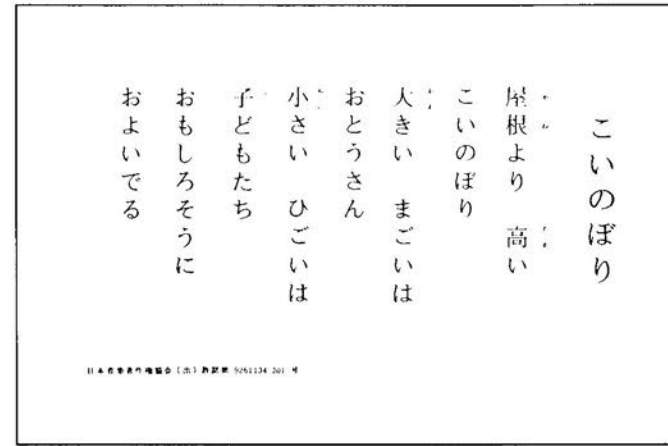
【解答】



【指導のポイント】

反対の意味の言葉を1対にしてまとめて覚えることで、頭の中の語彙が整理され、体系化してゆきます。

カードなどを使って、漢字も少しずつ覚えてゆきましょう。(テキストでは、数・量など他の分野のページでも、漢字を目にする機会を設けています。)



【問題】

(ここには、歌が書いてあります。)

知っている字があったら、読んでみましょう。(何の歌でしょうか。)

1. これは、「こいのぼり」の歌です。歌詞を読んでみましょう。(ひとくぎりずつ歌詞を読んで、復唱させて下さい。)
2. 歌詞をみながら、「こいのぼり」の歌を歌いましょう。(くりかえし練習して、歌を覚えましょう。)
3. あいている所に、この歌にあう絵を自分で書いて下さい。

【歌詞を読む時の指導箇所】

○漢字の読み 「高い」「大きい」「小さい」「子どもたち」

○反対語 「大きい」「小さい」

○濁音 「こいのぼり」「まごい」「ひごい」「子どもたち」「およいでる」

○長音 「おとうさん」の「う」「おもしろそうに」の「う」

【指導のポイント】

中期・後期の各号では、歌を1曲ずつ学習していきます。歌のページは繰り返し学習して、覚えてしまうようにして下さい。歌を覚えることで、語彙をふやしていくことができます。

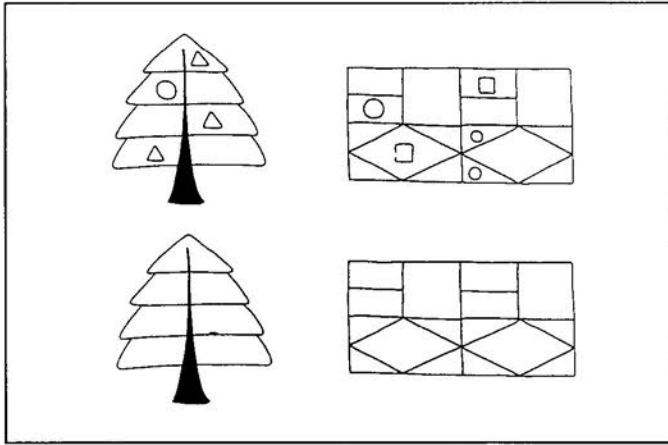
また、(覚えた)歌詞を文字で確認しながら歌うことで、ことばや文を読む力もつけられます。ひらがなの濁音・長音・促音および助詞の表記や漢字なども、歌詞という親しみやすい形で何度も目にしていると、自然に読めるようになってきます。「歌詞を読むときの指導箇所」を参考にして、簡単に説明してあげて下さい。

最後の設問は課題画ですが、楽しく自由に絵をかかせて下さい。簡単な絵でかまいません。歌の内容を自分でイメージするという練習が大切です。

9

図形／書く（模写）①

7



【問題】

上の絵と同じになるように、赤でしるしを書いて下さい。
どのしるしがどの場所にあるか、しっかり確かめて書いて下さい。

【解答】

(省略)

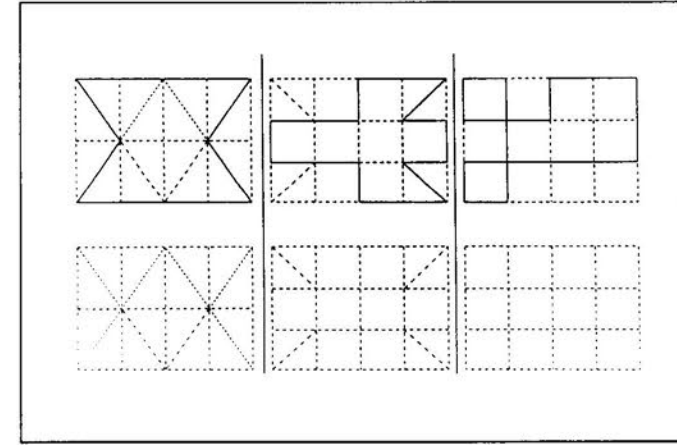
【指導のポイント】

しるしの位置をしっかり確認して、書かせて下さい。お手本のしるしを1つずつ指さしながら、「これはどこに書けばよいかな」と声をかけて、1つずつ書かせてゆくとよいでしょう。位置だけでなく、形もまちがえないように、注意して書かせましょう。

10

図形／書く（模写）②

7



【問題】

上の絵と同じになるように、線をなぞって形を書いて下さい。

【解答】

(省略)

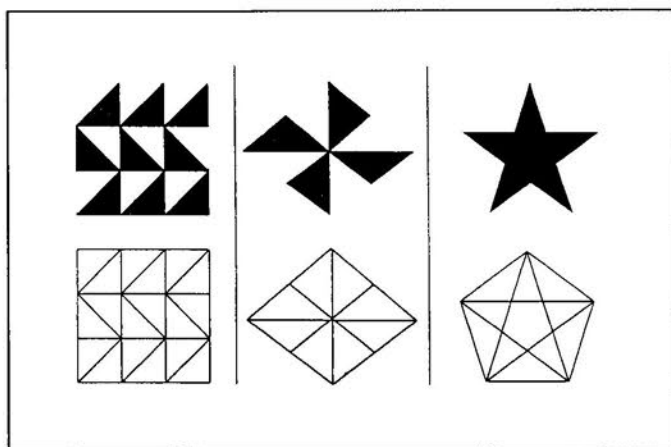
【指導のポイント】

書きはじめの1点を適当にきめて、ひとふでがきで書かせて下さい。上の絵を指さしながら、ポイントとなるところで、「はい、右にまがって」などと声をかけてあげるとよいでしょう。

1 1

図形／書く（模写）③

7



【問題】

上の絵と同じになるように、黒で色をぬって、形を書いて下さい。

【解答】

(省略)

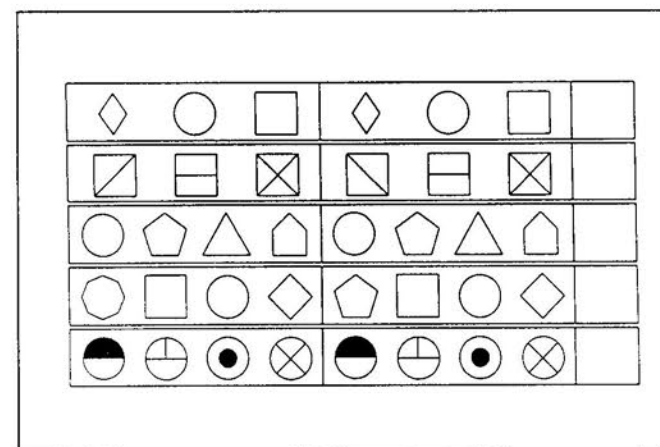
【指導のポイント】

色をぬる前に、まず形を線で書かせて下さい。その際、点の位置をしっかりと確認させましょう。

1 2

図形／同図形発見①

7



【問題】

左側と右側に、同じ形が同じ順序で並んでいるものはどれですか。右はしの箱の中に、赤で○を書いて下さい。

【解答】

1番上、上から3番目、1番下

【指導のポイント】

この問題では、「同じ形」「同じ順序」という2つの条件を同時に満たすものをさがさせます。具体的なものや最初の問題を例として、説明してあげて下さい。まず、問題の意味を正しく理解させることが大切です。

解答するときには、左右を1つずつ注意深く見比べさせて下さい。

13

図形／同図形発見②

7

10	9	8	10	8	9	
と	ん	ぼ	と	ん	ぼ	
8	6	2	9	8	6	2
し	ろ	く	ま	し	ろ	く
目	耳	鼻	口	耳	目	鼻

【問題】

左側と右側に、同じ字（数字、ひらがな、漢字）が同じ順序で並んでいるものはどれですか。

右はしの箱の中に、緑で○を書いて下さい。

【解答】

上から2番目、上から4番目

【指導のポイント】

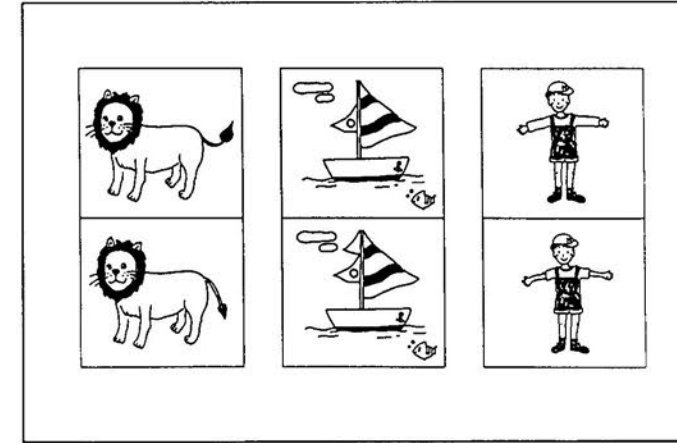
この問題では、「同じ字」「同じ順序」という2つの条件を同時に満たすものをさがさせます。具体的なものや最初の問題を例として、説明してあげて下さい。まず、問題の意味を正しく理解させることが大切です。

解答するときには、左右を1つずつ注意深く見比べさせて下さい。文字を読めると、早合点してまちがえる場合があります。

14

図形／異図形発見①

7



【問題】

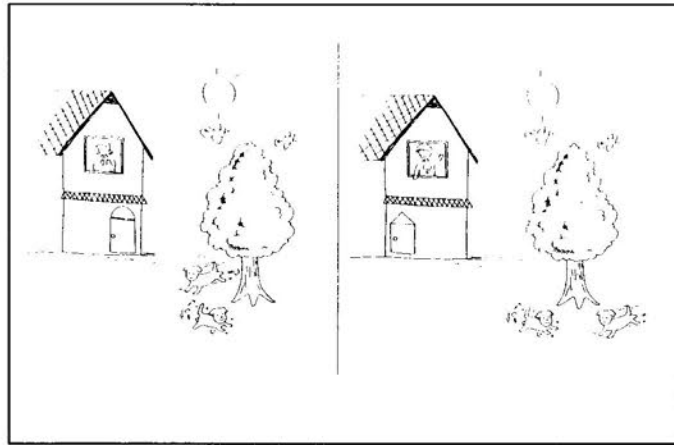
下の絵は、上の絵とどこかが違います。違っているところがよくわかるように、下の絵に、青で○をつけて下さい。

【解答】

- (左) → しっぽ
- (まん中) → 左側の帆の形
- (右) → 男の子の半袖のシャツ (上の絵では、長袖)

【指導のポイント】

最初はしっかり観察させて、確実に違いを見つけさせて下さい。絵を構成している部分を、1つずつ、「○○は、どうかな」と上下で見比べるように指導するとよいでしょう。



【問題】

右の絵は、左の絵と違うところが3つあります。
違っているところがよくわかるように、右の絵に、茶色で○をつけて下さい。

【解答】

(左の絵と右の絵で違う箇所)

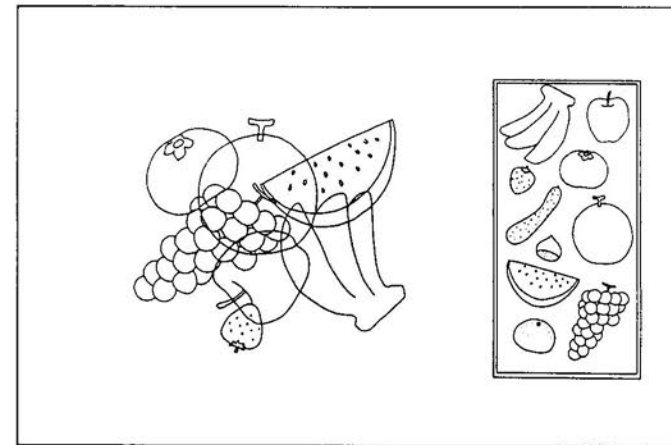
家の窓にいる男の子(左の絵では、女の子)

2匹の犬の位置関係

家のドアの位置と形

【指導のポイント】

最初はしっかり観察させて、確実に違いを見つけさせて下さい。絵を構成している部分を、1つずつ、「○○は、どうかな」と左右で見比べるように指導するとよいでしょう。



【問題】

左の絵をよく見て下さい。いろいろなものが重なっていますね。

1. 右の枠の中で、左の絵の中にあるものを選んで、だいで○をつけて下さい。
2. ○をつけたもの(左の絵の中にあるもの)はいくつあるか、数えて下さい。

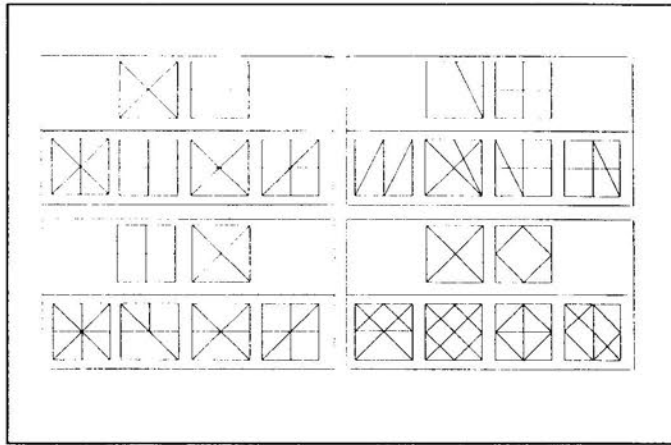
【解答】

1. バナナ、りんご、いちご、かき、メロン、すいか、ぶどう
2. 7(つ)

【指導のポイント】

まず、左の絵をよく観察させて下さい。すぐに形をみつけられるようであれば、見つけた形を指でなぞったり、別々の色で書いてみて、右の枠の絵に○をつけさせるとよいでしょう。

形をみつけにくいようでしたら、右の枠の形があるかどうか、1つずつ、左の絵で確かめさせて下さい。



【問題】

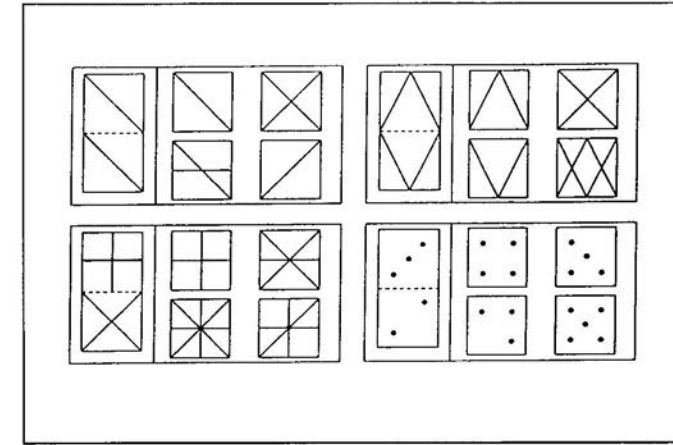
この問題のもようは、全部透き通った紙に書いてあります。
 (四角のわくの中の) 上の段の左のもようを、右のもようの上に重ねたら、どんなもようができるでしょうか。
 下の段から選んで、緑の○をつけて下さい。

【解答】

(左上) → 左から3番目 (右上) → 右はし
 (左下) → 左はし (右下) → 左から2番目

【指導のポイント】

子どもにとっては、とてもむずかしい問題です。まずは、透明の下敷きや教具などを使って、実際に2つの絵や模様を重ねて見せてあげて下さい。重ねる前と、重ねた後の様子をよく観察させて、問題の意味をしっかりと理解させましょう。



【問題】

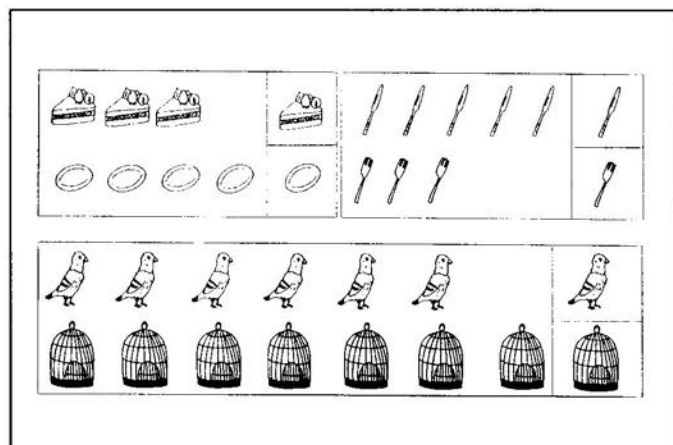
この問題のもようは、全部透き通った紙に書いてあります。
 (四角のわくの中の) 左側の長方形の紙を、まん中の点線で上に折ったら、どんなもようができるでしょうか。
 右側から選んで、紫の○をつけて下さい。

【解答】

(左上) → 右上 (右上) → 左上
 (左下) → 左下 (右下) → 右下

【指導のポイント】

子どもにとっては、とてもむずかしい問題です。まずは、透明の下敷きや教具などを使って、実際に2つの絵や模様を折って重ねて見せてあげて下さい。前のページの問題とは、重ねかたが違うので、注意させて下さい。
 重ねる前と、重ねた後の様子をよく観察させて、問題の意味をしっかりと理解させましょう。



【問題】

数が多いのは、どちらでしょうか。
2種類の絵を、1つずつ線でむすんで、考えてみましょう。
数が多い方の絵に、黄色で○をつけて下さい。

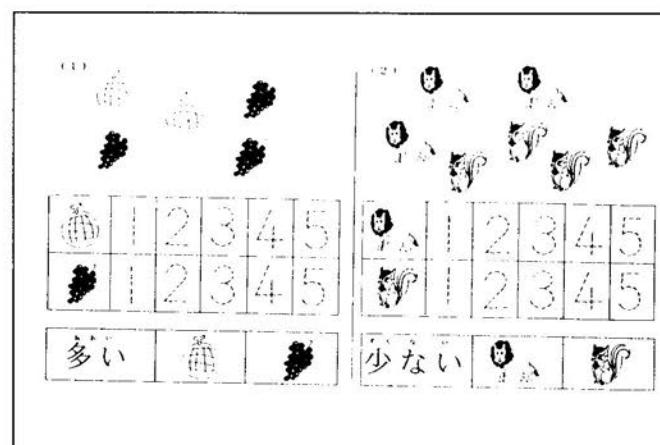
【解答】

(左上) → おさら
(下) → 鳥かご

(右上) → ナイフ

【指導のポイント】

今回は、1つずつ線でむすんで対応させて、数を比較する練習です。1対ずつ
しっかり線でむすばせて、残ったほうが数が多いことを確認させて下さい。



【問題】

- メロンとぶどうの数を比べましょう。
緑の○をつけながら、メロンの数を数えて下さい。数えたら、緑でその数
(数字)をなぞって書きましょう。
紫の○をつけながら、ぶどうの数を数えて下さい。数えたら、紫でその数
(数字)をなぞって書きましょう。
メロンとぶどうで、数が多いほうの絵に、赤で○をつけて下さい。

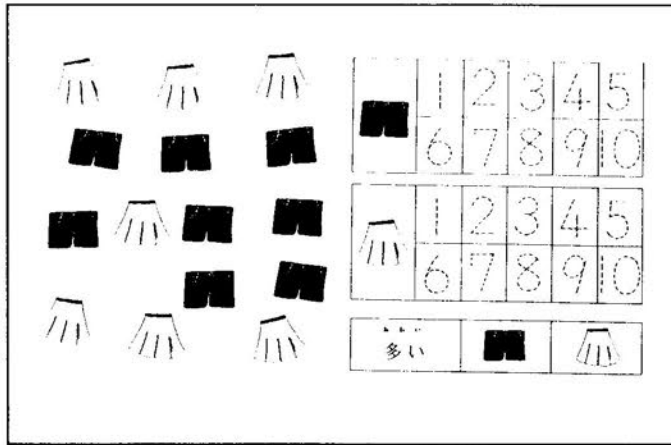
- りすとライオンの数を比べましょう。
緑の○をつけながら、りすの数を数えて下さい。数えたら、緑でその数
(数字)をなぞって書きましょう。
黄色の○をつけながら、ライオンの数を数えて下さい。数えたら、黄色でそ
の数(数字)をなぞって書きましょう。
りすとライオンで、数が少ないほうの絵に、赤で○をつけて下さい。

【解答】

- メロン → 2、ぶどう → 3、多い → ぶどう
- りす → 4、ライオン → 3、少ない → ライオン

【指導のポイント】

同じものをさがして、しっかり数を数えさせましょう。数え忘れがないように、
左上から順番に、しるしをつけながら数える練習をさせて下さい。



【問題】

ズボンとスカートの数を比べましょう。

青の○をつけながら、ズボンの数を数えて下さい。数えたら、青でその数（数字）をなぞって書きましょう。

黄色の○をつけながら、スカートの数を数えて下さい。数えたら、黄色でその数（数字）をなぞって書きましょう。

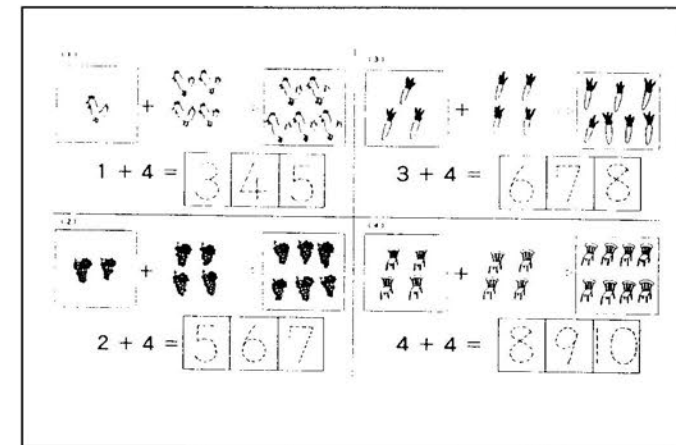
ズボンとスカートで、数が多いほうの絵に、赤で○をつけて下さい。

【解答】

ズボン → 8、 スカート → 7、 多い → ズボン

【指導のポイント】

同じものをさがして、しっかり数を数えさせましょう。数え忘れがないように、左上から順番に、しるしをつけながら数える練習をさせて下さい。



【問題】

答えの数（数字）を選んで、なぞりましょう。

1. にわとりが1羽います。後で、4羽やってきました。にわとりは、全部で何羽になりましたか。
2. ぶどうが2個あります。後で、4個買ってきました。ぶどうは、全部で何個になりましたか。
3. にんじんが3本あります。後で、4本もらいました。にんじんは、全部で何本になりましたか。
4. いすが4つあります。後で、4つ持ってきました。いすは、全部でいくつになりましたか。

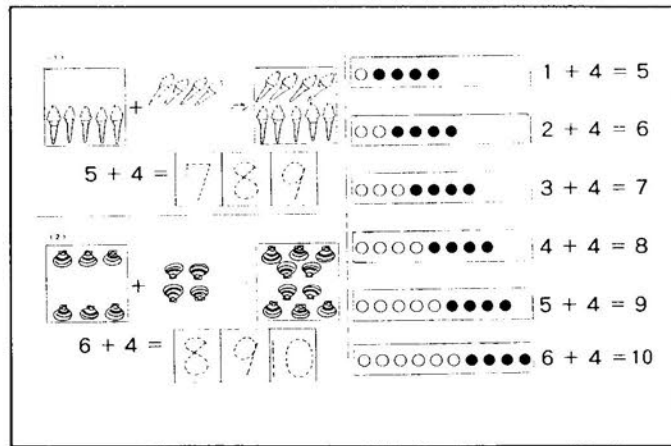
【解答】

1. 5（羽）
2. 6（個）
3. 7（本）
4. 8（つ）

【指導のポイント】

中期（6～10号）では、答えが10までの「もの」のたし算を、たす2からたす9まで順に学習します。問題ページの絵をよくみて、変化の前後のものの数をしっかり数えさせて下さい。

絵の下のたし算の式は、答えあわせの後で声を出して読んであげて下さい。



【問題】

答えの数（数字）を選んで、なぞりましょう。

- ソフトクリームが5個あります。後で、4個買ってきました。
ソフトクリームは、全部で何個になりましたか。
- 貝が6個あります。後で、4個拾いました。
貝は、全部で何個になりましたか。
- （たす4のまとめ）
○と●の数を数えて、たし算の式を読んでみましょう。

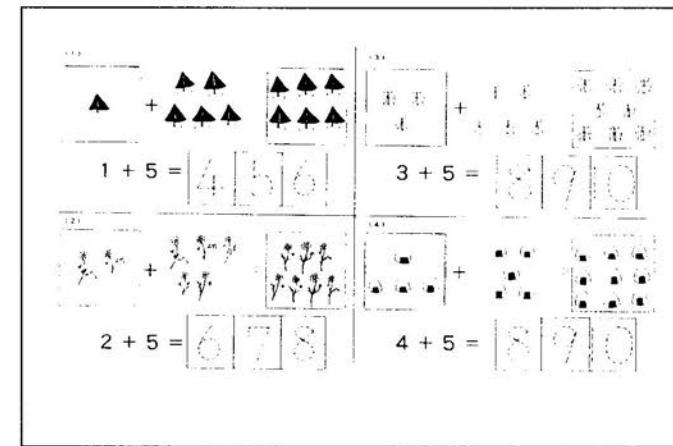
【解答】

- 9（個）
- 10（個）
- （省略）

【指導のポイント】

問題文は1文ずつ読んで、対応するものの数を絵で確認させてから、次の文へすすんで下さい。答えを選ぶ時には、もとの数をひとまとまりにして数えた後、ふえた分を意識させながら続きを数えさせるとよいでしょう。（「イチニサンシゴ、ロクシチハチク」というように。）

まとめの部分では、ドッツで数を確認しながら、たし算の式を復唱させて下さい。その後で式を読んであげて、こどもに答えをいわせてみるとよいでしょう。クイズのようにすばやく楽しくやってあげて下さい。くりかえしやることで、式からも（絵や問題文がなくても）「たす○」の意味が理解できるようになります。



【問題】

答えの数（数字）を選んで、なぞりましょう。

- おもちゃのヨットが1つあります。後で、5つもらいました。
ヨットは、全部でいくつになりましたか。
- 花が2本あります。後で、5本つんできました。
花は、全部で何本になりましたか。
- ちょうちょが3匹います。後で、5匹やってきました。
ちょうちょは、全部で何匹になりましたか。
- おにぎりが4個あります。後で、5個つくりました。
おにぎりは、全部で何個になりましたか。

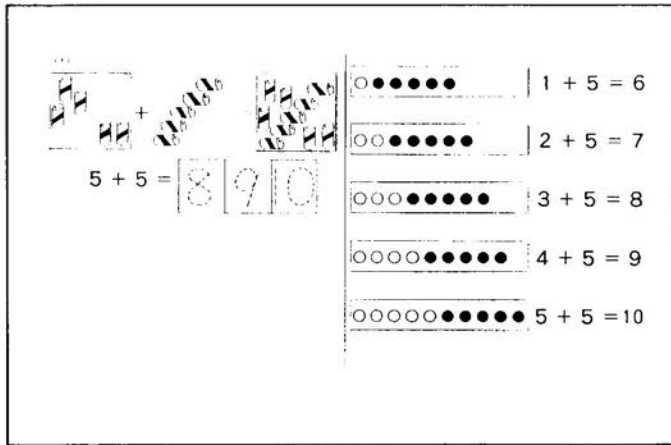
【解答】

- 6（つ）
- 7（本）
- 8（匹）
- 9（個）

【指導のポイント】

問題文は1文ずつ読んで、対応するものの数を絵で確認させてから、次の文へすすんで下さい。答えを選ぶ時には、もとの数をひとまとまりにして数えた後、ふえた分を意識させながら続きを数えさせるとよいでしょう。（「イチ、ニサンシゴロク」というように。）

絵の下のたし算の式は、答えあわせの後で声を出して読んであげて下さい。



【問題】

答えの数（数字）を選んで、なぞりましょう。

1. ジュースが5本あります。後で、5本もらいました。ジュースは、全部で何本になりましたか。
2. （たす5のまとめ）
○と●の数を数えて、たし算の式を読みましょう。

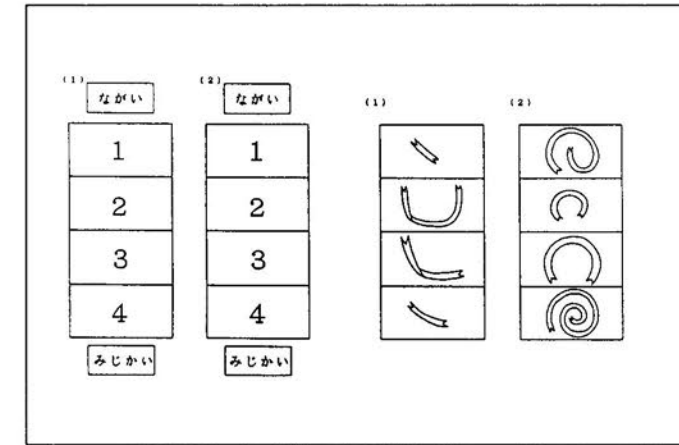
【解答】

1. 10（本）
2. （省略）

【指導のポイント】

問題文は1文ずつ読んで、対応するものの数を絵で確認させてから、次の文へすすんで下さい。答えを選ぶ時には、もとの数をひとまとまりにして数えた後、ふえた分を意識させながら続きを数えさせるとよいでしょう。（「イチニサンシゴ、ロクシチハチクジュウ」というように。）

まとめの部分では、ドッツで数を確認しながら、たし算の式を復唱させて下さい。その後で式を読んであげて、こどもに答えをいわせてみるとよいでしょう。クイズのようにすばやく楽しくやってあげて下さい。くりかえしやることで、式からも（絵や問題文がなくても）「たす○」の意味が理解できるようになります。



【問題】

リボンの長さを比べましょう。

右側のリボンの絵のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。

左側の数字のかいてある箱に、切りとったリボンのカードを、上から、長い順にはって下さい。

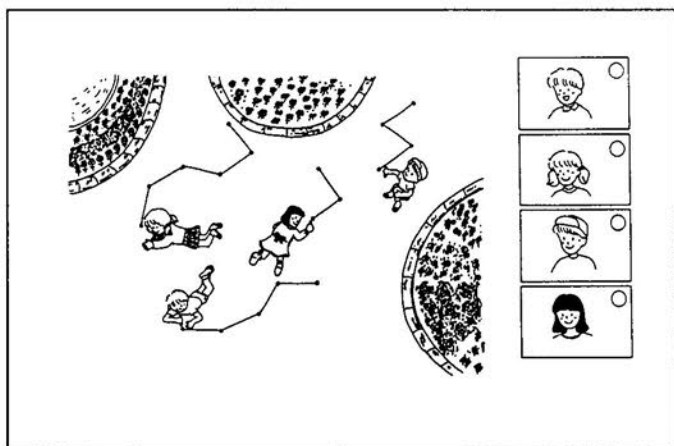
【解答】

（右側のカードを、長い順に上からならべると）

1. 上から2番目、上から3番目、一番下、一番上
2. 一番下、一番上、上から3番目、上から2番目

【指導のポイント】

実際に、リボンなどで同じようなものを作って、比べてみるとよいでしょう。まがっているものや、ねじれているものは、いったんのばして比べさせましょう。



【問題】

4人の子どもが、土の上に線をかいています。線の長さを比べましょう。

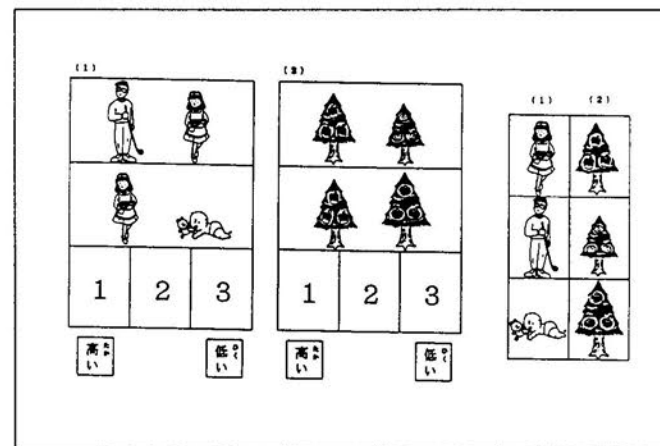
1. 線が1番長いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、黄色でぬって下さい。
2. 線が2番目に長いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、だいでぬって下さい。
3. 線が3番目に長いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、青でぬって下さい。
4. 線が1番短いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、緑でぬって下さい。

【解答】

1. 上から2番目
2. 1番上
3. 上から3番目
4. 1番下

【指導のポイント】

長さを数で表して比べる問題です。それぞれの長さを、基準となる長さのいくつ分であるかを答えさせてから、順番を考えるように指導して下さい。



【問題】

1. 男の人と女の子では、男の人のほうが背が高いですね。女の子と赤ちゃんでは、女の子のほうが背が高いですね。ではこの3人を、背の高い順に並べてみましょう。

右側の人のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。

左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、背の高い順にはって下さい。

2. りんごの木とみかんの木では、りんごの木のほうが高いですね。かきの木とりんごの木では、かきの木のほうが高いですね。ではこの3本を、高い順に並べてみましょう。

右側の木のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。

左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、高い順にはって下さい。

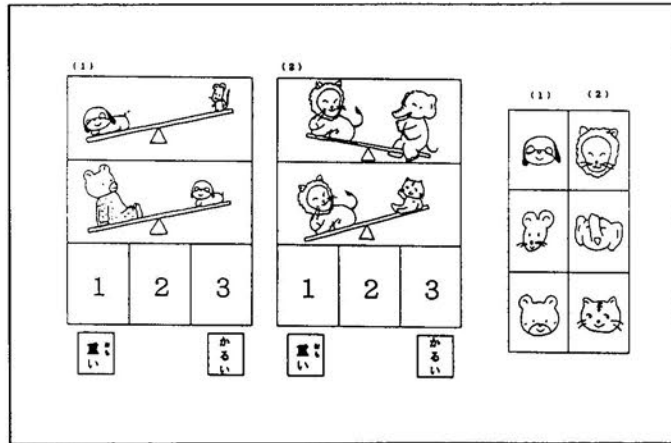
【解答】

(右側のカードを、高い順に左からならべると)

1. 男の人、女の子、赤ちゃん
2. かきの木、りんごの木、みかんの木

【指導のポイント】

3つのものを間接的に比べる問題です。最初なので、実際に絵を並べて比べさせて下さい。



【問題】

1. 犬とねずみとでは、犬のほうが重いですね。犬とくまでは、くまのほうが重いですね。ではこの3匹を、重い順に並べてみましょう。

右側の動物の顔のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、重い順にはって下さい。

2. ライオンと象とでは、象のほうが重いですね。ライオンとねこでは、ライオンのほうが重いですね。ではこの3匹を、重い順に並べてみましょう。

右側の動物の顔のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、重い順にはって下さい。

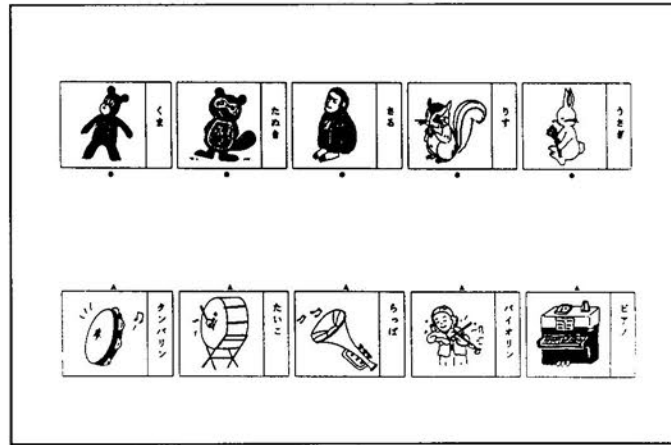
【解答】

(右側のカードを、重い順に左からならべると)

1. くま、犬、ねずみ
2. 象、ライオン、ねこ

【指導のポイント】

3つのものの重さを間接的に比べる問題です。シーソーなどで実際に体験してみるとよくわかるでしょう。



【問題】（絵を見せながらお話を読んで、そのあと質問してあげてください。）

きょうは、森の音楽会の日です。太陽がニコニコと顔を出し、朝からとてもよい天気です。

小鳥たちのピッピッピ、チッチッチ、という鳴き声に誘われて、森の広場に音楽仲間が集まってきました。音楽を聞くお客さんたちが集まって輪になり、そのまん中で演奏が始まりました。

最初に、ポンポロリンとピアノのメロディーが流れました。ひいているのは、クマくんです。続いて、トントントンという太鼓の音。サルさんが太鼓をたたいています。続いて、タヌキさんがバイオリンをひき始めました。

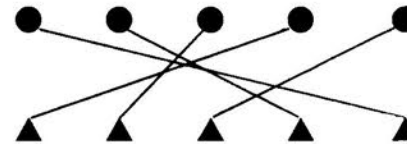
それから、ウサギさんがふくらっぱの音色と、リスくんがリズムをとってたたくタンバリンの音が加わりました。楽しくにぎやかな演奏です。お客さんたちも手拍子でこたえます。

一曲また一曲と、夕方まで森の音楽会は続きました。

【問題】

動物たちは、それぞれどんな楽器を演奏していましたか。●と▲を線でむすんで下さい。

【解答】



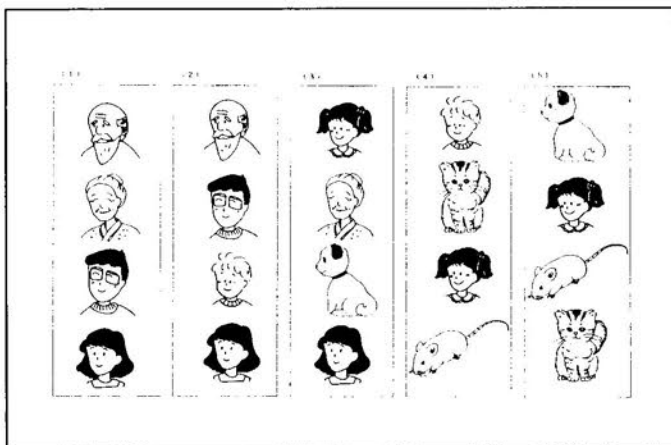
【指導のポイント】

問題のお話は、子どもが自分で正しい答えを見つけるまで、（答えあわせをかねて）何回も読んであげてください。子ども自身に、集中して聞こうという意識がでてきます。

お話の記憶は、いろいろな問題を解くために不可欠なものです。日頃からいろいろな本を読み聞かせたり、楽しいお話をしてあげたりして、聞く練習を続けて下さい。

3 1 記憶 / お話の記憶②

7



【問題】（絵を見せながらお話を読んで、そのあと質問してあげてください。）

畑に大きなかぶができました。おじいさんが、いっしょうけんめいに、世話をしたからです。「どれどれ、うん。もう、とってもいいようだな。よーし。」おじいさんは、そうつぶやくと、腕まくりをして、かぶの葉っぱを両手でつかみましました。そして、力いっぱい、かぶを引き抜こうとしました。――うんとこしょ。よいこらしょ。――ところが、かぶは、びくともしません。

そこで、おじいさんは、おばあさんを、呼びました。「おーい、おばあさん。ちょっと、手伝っておくれ。」おじいさんは、かぶの葉っぱを持ちました。おばあさんは、おじいさんの上着をつかみましました。そして、ふたりで、力いっぱい、かぶを引き抜こうとしました。――うんとこしょ。よいこらしょ。――それでも、かぶは、うごきません。

そこで、おばあさんは、お父さんとお母さんを呼びました。「おーい、お父さんとお母さん。ちょっと、手伝ってちょうだい。」おじいさんが、かぶの葉っぱを持ち、おばあさんは、おじいさんの上着をつかみましました。お父さんは、おばあさんのスカートをもち、お母さんは、お父さんの上着をつかみましました。そして、みんなで力いっぱい、かぶを引き抜こうとしました。――うんとこしょ。よいこらしょ。――それでも、かぶは抜けません。

そこで、お母さんは、男の子と女の子を呼びました。「手伝ってちょうだい。」おじいさんが、かぶの葉っぱを、おばあさんは、おじいさんの上着を、そして、お父さんは、おばあさんのスカートを、お母さんは、お父さんの上着をつかみましました。それから、男の子がお母さんのスカートを、女の子は男の子の上着をつかみましました。そして、みんなで、声をあわせて、力いっぱい、かぶを引き抜こうとしました。――うんとこしょ。よいこらしょ。――それでも、かぶは抜けま

せん。

そこで、子どもたちは、犬と猫を呼びました。そして、犬と猫も手伝って、みんなで、力いっぱい引っ張りましました。――うんとこしょ。よいこらしょ。――それでも、かぶは抜けません。

そこで、猫はねずみを呼びました。おじいさんが、かぶの葉っぱを、おばあさんは、おじいさんの上着を、そして、お父さんは、おばあさんのスカートを、お母さんは、お父さんの上着を、男の子がお母さんのスカートを、女の子は男の子の上着をつかみましました。そして、犬が女の子のスカートを、猫が犬のしっぽを持ち、最後に、ねずみが猫のしっぽを持ちましました。そして、みんなで、声をあわせて、――うんとこしょ。よいこらしょ。うんとこしょ。よいこらしょ。――力いっぱい、引っ張りましました。すると、ゴボッと大きな音がして、大きな大きなかぶが、土の中から飛び出ましました。「やったー。ばんざーい。」「よかった。よかった。」みんなは、手を取り合って、喜びましました。

【問題】

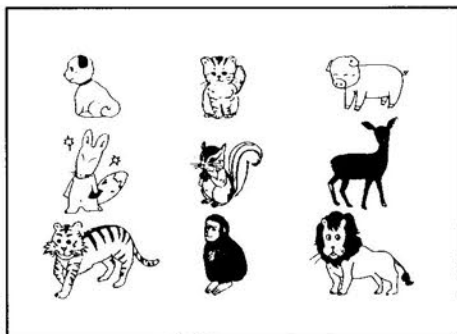
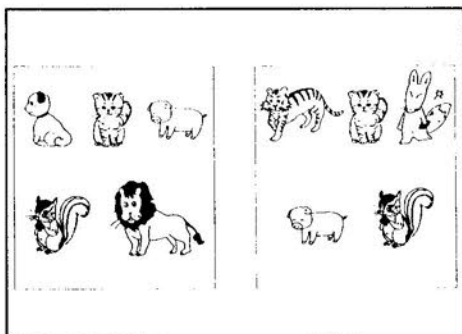
1. ひとりでは、かぶが抜けなかつたので、おじいさんは、誰を呼びましましたか。赤の○をつけて下さい。
2. おばあさんのスカートを、つかんだのは誰ですか。緑の○をつけて下さい。
3. 男の子の上着を、つかんでいたのは誰でしょうか。黄色の○をつけて下さい。
4. 犬のしっぽを、つかんでいたのは、誰ですか。青の○をつけて下さい。
5. 一番最後に呼ばれて、手伝ったのは誰ですか。茶色の○をつけて下さい。

【解答】

1. おばあさん
2. お父さん
3. 女の子
4. 猫
5. ねずみ

【指導のポイント】

絵を見ながら、お話を讀んだり、聞いたりすることは、もちろんたいせつなことです。ただ、昔話や民話などでは、絵を見せないで讀み聞かせる練習も必要です。言葉を聞いて、それを頭の中でイメージ化するという作業は、思考し、想像するのに、不可欠なことです。アニメや劇画ではなく、文章を讀んでものごとを理解するためには、言葉をイメージ化する力が必要です。讀み聞かせる時は、子どもたちの目を、閉じさせるとよいでしょう。集中して聞くことができます。夜、布団の中で、楽しいお話を聞かせてあげて下さい。（お話のカセットテープやCDでもよいでしょう。）



【問題】

「左側と右側の両方にあるものを、覚えて下さい。」

(記憶用紙を20～30秒間見せた後、解答用紙をわたして下さい)

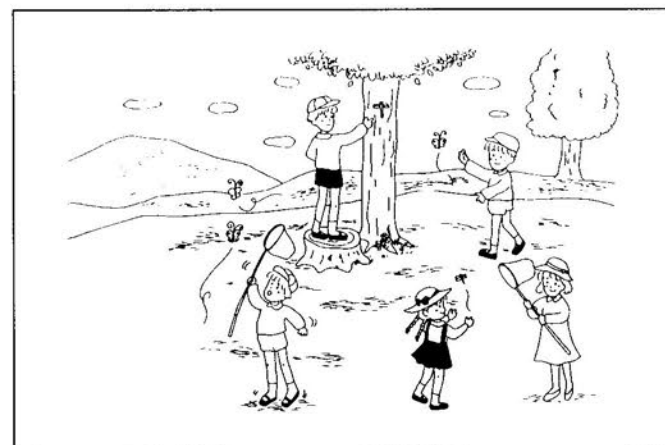
「左側と右側の両方にあった絵は、どれでしょうか。
だいでいで○をつけて下さい。」

【解答】

ねこ、ぶた、りす

【指導のポイント】

記憶の練習をすることで、「注意してよくみる力」も育ってきます。ゲーム感覚で楽しく学習を進めて下さい。



【問題】

「どんな人が何人いるか、よく見て覚えましょう。」

(記憶用紙を10～20秒間見せた後、質問して下さい。
解答用紙は、ありません。)

1. あみを持っている子どもは、何人いましたか。答えて下さい。
2. あみを持っていない子どもは、何人いましたか。答えて下さい。
3. 子どもは、全部で何人いましたか。答えて下さい。

【解答】

1. 2人
2. 3人
3. 5人

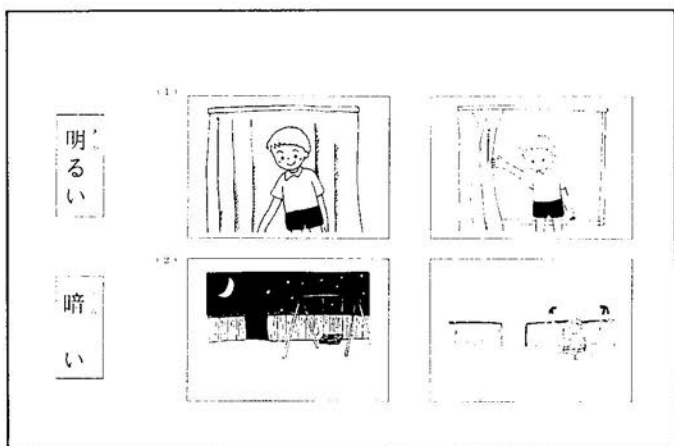
【指導のポイント】

今回は、記憶した内容を口頭で答える練習です。

この程度の数であれば、すぐに数を読み取れるようにしたいものです。

時間内に記憶するのがむずかしいようであれば、(答合わせをかねて)何回もチラリと絵を見せてあげて下さい。

記憶の練習をすることで、「注意してよくみる力」も育ってきます。ゲーム感覚で楽しく学習を進めて下さい。



【問題】

(まず、漢字を読んで復唱させて下さい。「明るい」「暗い」)

「明るい」という字のほうに、黄色の○をつけましょう。

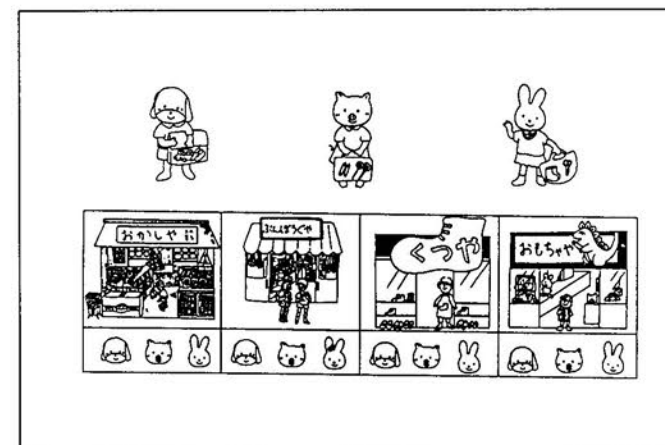
- 2つの絵では、どちらが明るいでしょうか。明るいほうに、黄色の○をつけて下さい。
- 2つの絵では、どちらが暗いでしょうか。暗いほうに、黄色の○をつけて下さい。

【解答】

- 右
- 右

【指導のポイント】

ふだん何気なく感じている「明るさ」について、考える機会を作りました。身近な生活の中のいろいろな事象について、「なぜ、そうなるのだろう」と子どもに考えさせることは大切です。「科学する心」の芽を幼時期から育ててあげて下さい。



【問題】

かばんの中にはいっているものをよく見て、答えて下さい。

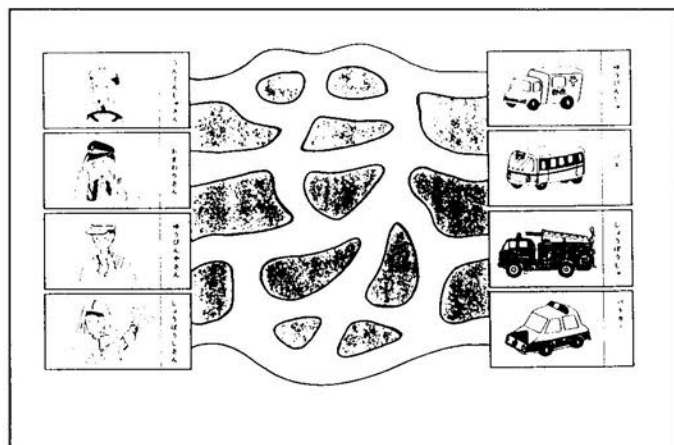
- いぬさんは、どこへ買物に行きましたか。行った店を選んで、その下の箱のいぬの絵に、赤の○をつけて下さい。
- ぶたさんは、どこへ買物に行きましたか。行った店を選んで、その下の箱のぶたの絵に、黄色の○をつけて下さい。
- うさぎさんは、どこへ買物に行きましたか。行った店を選んで、その下の箱のうさぎの絵に、青の○をつけて下さい。
- いぬさんとうさぎさんの両方が行った店は、どこですか。その店の絵に、茶色の○をつけて下さい。
- ぶたさんとうさぎさんの両方が行った店は、どこですか。その店の絵に、緑の○をつけて下さい。

【解答】

- おもちゃや、くつや
- 文房具屋、おかしや
- くつや、文房具屋
- くつや
- 文房具屋

【指導のポイント】

かばんの中の品物を見て、2人が行った店を考える問題ですが、まず1人ずつ、行った店に○をつけてから、条件にあうものをさがすよう、指導して下さい。



【問題】

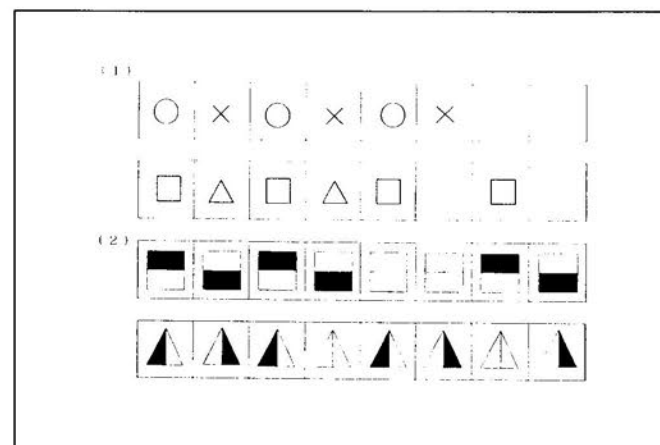
1. はがきや手紙を届けてくれる人は、どの人ですか。左から選んで、緑の○をつけて下さい。その人が乗るのりものを右から選んで、左の絵と、緑の線でむすびましょう。
2. バスを運転する人は、どの人ですか。左から選んで、黄色の○をつけて下さい。その人が乗るのりものを右から選んで、左の絵と、黄色の線でむすびましょう。
3. 火事の火を消す人は、どの人ですか。左から選んで、赤の○をつけて下さい。その人が乗るのりものを右から選んで、左の絵と、赤の線でむすびましょう。
4. 悪いことをした人をつかまえたり、事件がおこらないように町を見回ったりする人は、どの人ですか。左から選んで、茶色の○をつけて下さい。その人が乗るのりものを右から選んで、左の絵と、茶色の線でむすびましょう。

【解答】

1. 郵便屋さん――郵便車
2. 運転手さん――バス
3. 消防士さん――消防車
4. おまわりさん――パトカー

【指導のポイント】

こどもの生活で身近な職業とのりものをとりあげています。このほかにも、どんな仕事があるか、話し合ってみましょう。



【問題】

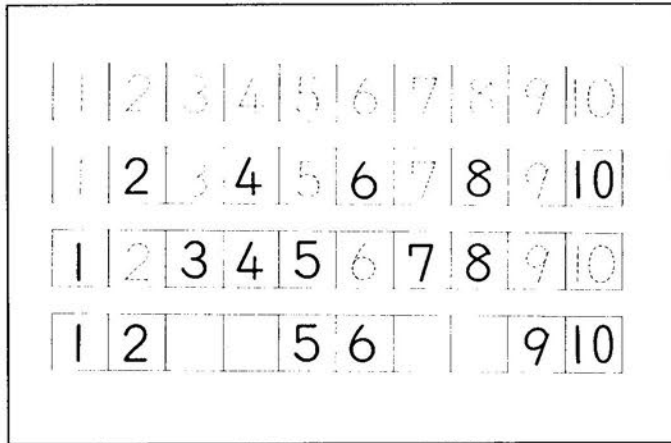
1. 絵が順番に並んでいます。あいている所に、ちょうどよい絵を書いて下さい。
2. 絵が順番に並んでいます。うまくつながるように、あいている所に、黒で色をぬって下さい。

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

2種類の連続パターンです。「○、×、○、×、・・・」と声に出して、並んでいる順番を言わせてみるとよいでしょう。



【問題】

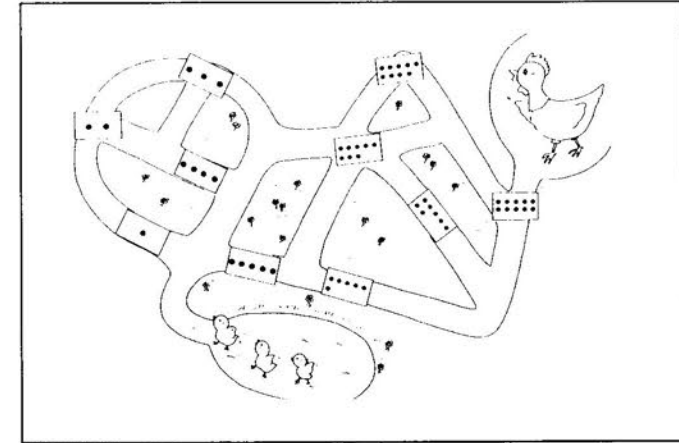
- 1から10まで、数字をなぞって書きましょう。
(書けたら、1から10まで、数えてみましょう。)
この中で、5より大きい数字に黄色の○をつけて下さい。
2. 3. ぬけているところの数字を、なぞって書きましょう。
4. ぬけているところには、どんな数字が入るでしょうか。数字を書いて下さい。
(言ってみてください。)

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

数字の並びをしっかりと理解させましょう。数唱は、たし算の基礎になります。ドッツカードなどでも練習して下さい。
「○より大きい数」というときは、「○」は含まれないことも説明してあげて下さい。



【問題】

ひよこが、にわとりのところまででかけます。
道にあるドッツ(●)を、1から10まで順に通っていくように、赤で線をひいて下さい。

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

「イチ、ニ、サン、・・・」と声に出して数えながら、線をひかせるとよいでしょう。

すくすくどんどん 総合版7-A

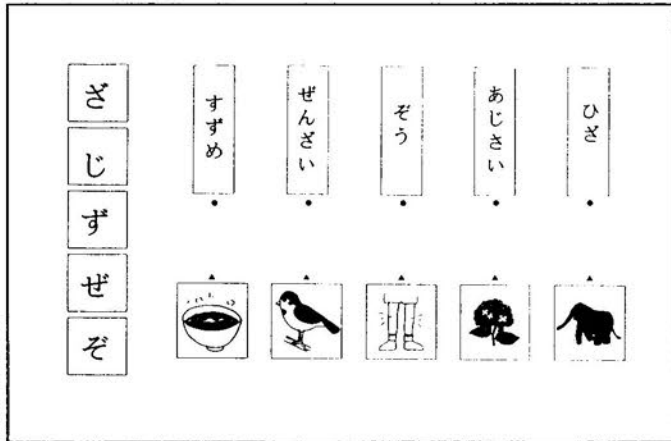
解答

教育デザイン研究所

1

言語／濁音（ざ行）

A 7



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ざ」「じ」「ず」「ぜ」「ぞ」

1. 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことばで、最後に「ざ」のつくものに、赤の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ざ」にも、赤の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことばで、「じ」がつくものに、緑の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「じ」にも、緑の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことばで、「ず」がつくものに、青の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ず」にも、青の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことばで、最初に「ぜ」のつくものに、茶色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぜ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことばで、最初に「ぞ」のつくものに、紫の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぞ」にも、紫の○をつけておきましょう。

【解答】

- 1.
2. ひざ
3. あじさい
4. すずめ
5. ぜんざい
6. ぞう

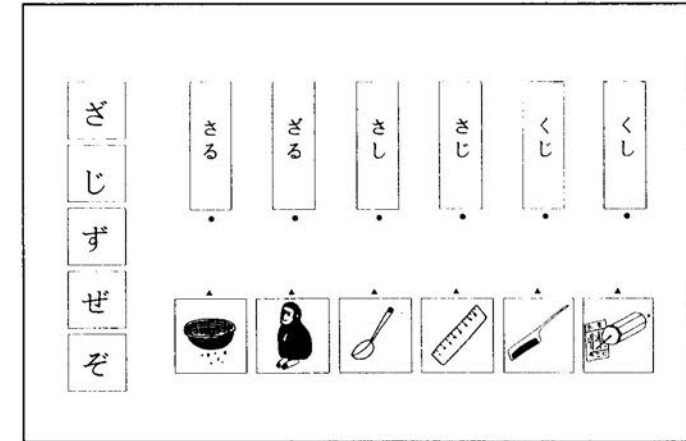
【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

2

言語／濁音（ざ行）

A 7



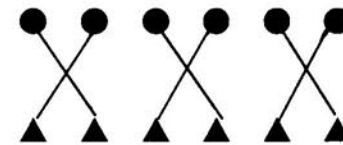
【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ざ」「じ」「ず」「ぜ」「ぞ」

- 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。「ず」に気をつけて、まちがえないように選んで下さい。

【解答】



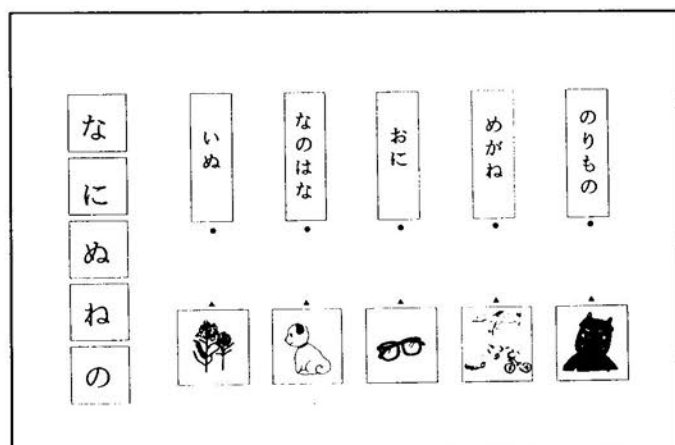
【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

3

言語／同尾語（な行）

A 7



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「な」「に」「ぬ」「ね」「の」

1. 上の段のことはを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことはで、「な」で終わるものに、青の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「な」にも、青の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことはで、「に」で終わるものに、緑の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「に」にも、緑の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことはで、「ぬ」で終わるものに、茶色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぬ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことはで、「ね」で終わるものに、黄色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ね」にも、黄色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことはで、「の」で終わるものに、黒の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「の」にも、黒の○をつけておきましょう。

【解答】



2. なのはな
3. おに
4. いぬ
5. めがね
6. のりもの

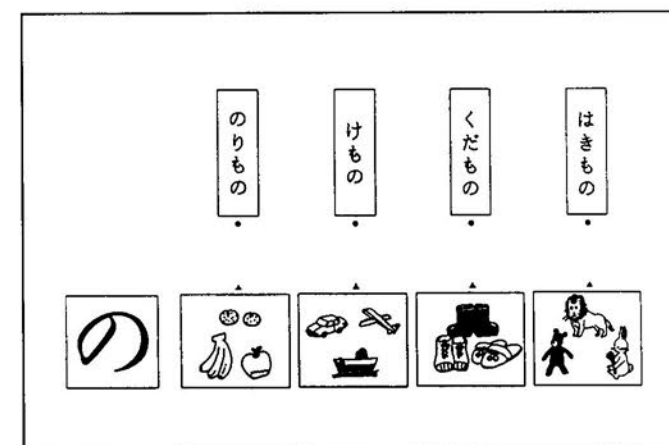
【指導のポイント】

ことはを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。
最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

4

言語／同尾語（の）

A 7

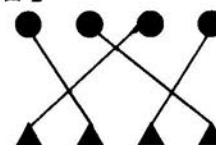


【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。「の」）

上の段のことはを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。

【解答】



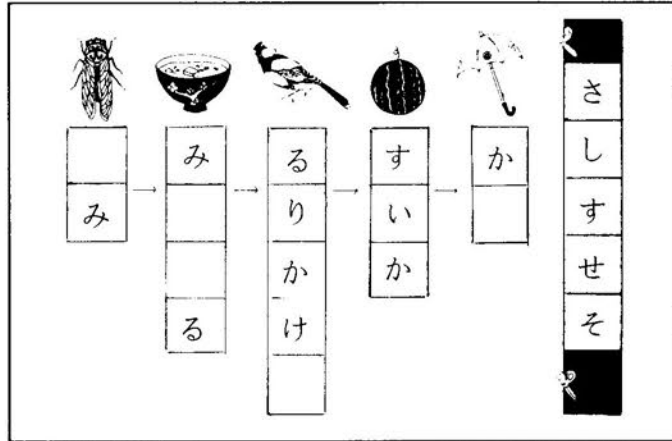
【指導のポイント】

ことはを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。
最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

5

言語／ひらがな（さ行）

A7



【問題】

1. 右側のひらがなを読んで下さい。このひらがなの部分を、はさみの絵がある線から切りとって、1枚ずつ切りはなしましょう。
2. しりとりになるように、あいているところに切りとったひらがなのカードをはりましょう。
3. (できあがったら) 左側から順に、ことばを読んで下さい。

【解答】

(左から順に)

せみ、みそしる、るりかけす、すいか、かさ

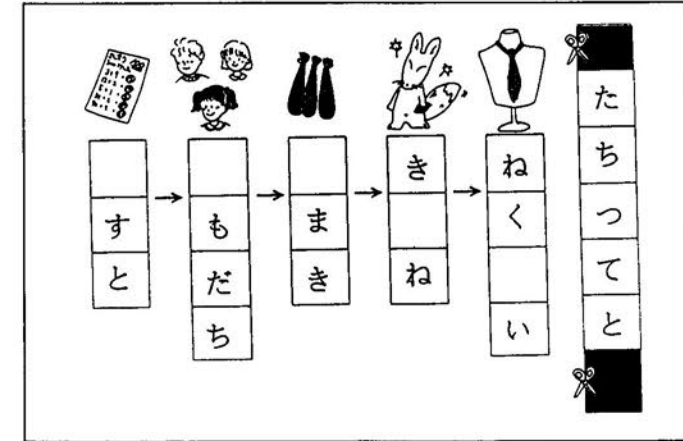
【指導のポイント】

中期（6号～10号）の言語ページでは、このような文字カードを切ってはりつけるという作業形式で、もう一度ひらがな50音を学習します。
はさみが正しく使えているかどうか、チェックしてあげて下さい。

6

言語／ひらがな（た行）

A7



【問題】

1. 右側のひらがなを読んで下さい。このひらがなの部分を、はさみの絵がある線から切りとって、1枚ずつ切りはなしましょう。
2. しりとりになるように、あいているところに切りとったひらがなのカードをはりましょう。
3. (できあがったら) 左側から順に、ことばを読んで下さい。

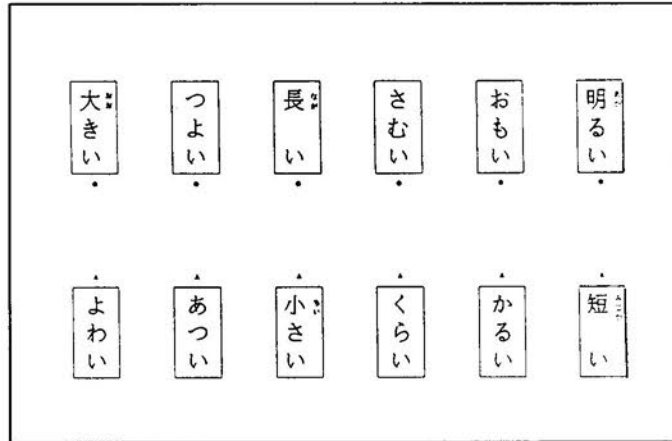
【解答】

(左から順に)

てすと、ともだち、ちまき、きつね、ねくたい

【指導のポイント】

中期（6号～10号）の言語ページでは、このような文字カードを切ってはりつけるという作業形式で、もう一度ひらがな50音を学習します。
はさみが正しく使えているかどうか、チェックしてあげて下さい。



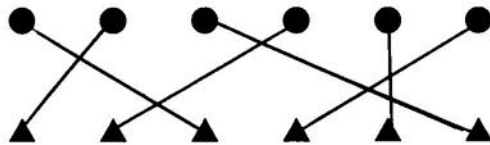
【問題】

(ことばを1つずつ読んで、復唱させて下さい。)

「大きい」「つよい」・・・「かるい」「短い」)

上の段のことばと反対の意味のことばを、下の段から選んで、●と▲を青の線でむすんで下さい。

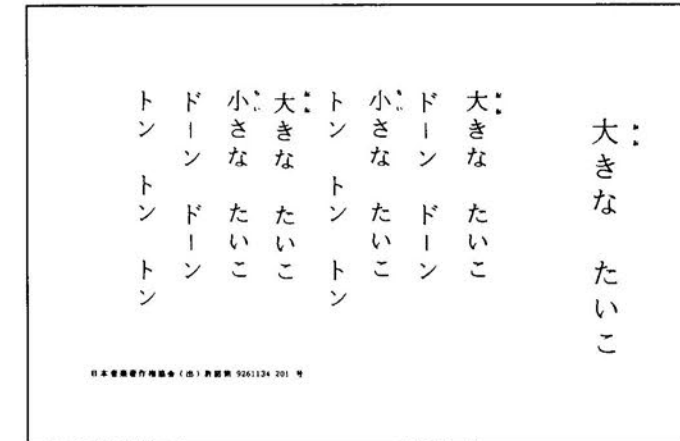
【解答】



【指導のポイント】

反対の意味の言葉を1対にしてまとめて覚えることで、頭の中の語彙が整理され、体系化してゆきます。

カードなどを使って、漢字も少しずつ覚えてゆきましょう。(テキストでは、数・量など他の分野のページでも、漢字を目にする機会を設けています。)



【問題】

(ここには、歌が書いてあります。)

知っている字があったら、読んでみましょう。何の歌でしょうか。)

1. これは、「大きなたいこ」の歌です。歌詞を読んでみましょう。(ひとくぎりずつ歌詞を読んで、復唱させて下さい。)
2. 歌詞をみながら、「大きなたいこ」の歌を歌いましょう。(くりかえし練習して、歌を覚えましょう。)
3. あいている所に、この歌にあう絵を自分で書いて下さい。

【歌詞を読む時の指導箇所】

- 漢字の読み 「大きな」「小さな」
- 反対語 「大きな」「小さな」

【指導のポイント】

中期・後期の各号では、歌を1曲ずつ学習していきます。歌のページは繰り返し学習して、覚えてしまうようにして下さい。歌を覚えることで、語彙をふやしていくことができます。

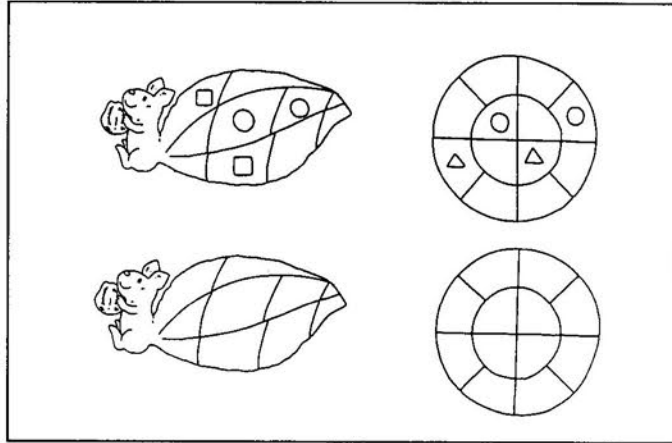
また、(覚えた)歌詞を文字で確認しながら歌うことで、ことばや文を読む力もつけられます。ひらがなの濁音・長音・促音および助詞の表記や漢字なども、歌詞という親しみやすい形で何度も目にしていると、自然に読めるようになってきます。「歌詞を読むときの指導箇所」を参考にして、簡単に説明してあげて下さい。

最後の設問は課題画ですが、楽しく自由に絵をかかせて下さい。簡単な絵でかまいません。歌の内容を自分でイメージするという練習が大切です。

9

図形／書く（模写）①

A7



【問題】

上の絵と同じになるように、赤でしるしを書いて下さい。
どのしるしがどの場所にあるか、しっかり確かめて書いて下さい。

【解答】
(省略)

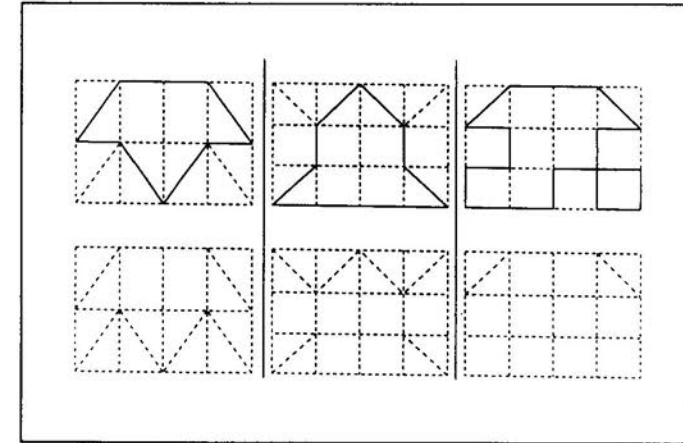
【指導のポイント】

しるしの位置をしっかり確認して、書かせて下さい。お手本のしるしを1つずつ指さしながら、「これはどこに書けばよいかな」と声をかけて、1つずつ書かせてゆくとよいでしょう。位置だけでなく、形もまちがえないように、注意して書かせましょう。

10

図形／書く（模写）②

A7



【問題】

上の絵と同じになるように、線をなぞって形を書いて下さい。

【解答】
(省略)

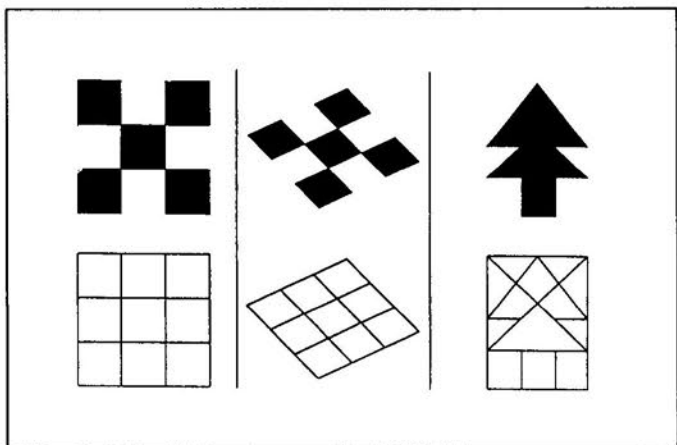
【指導のポイント】

書きはじめの1点を適当にきめて、ひとふでがきで書かせて下さい。上の絵を指さしながら、ポイントとなるところで、「はい、右にまがって」などと声をかけてあげるとよいでしょう。

1 1

図形／書く（模写）③

A 7



【問題】

上の絵と同じになるように、黒で色をぬって、形を書いて下さい。

【解答】
(省略)

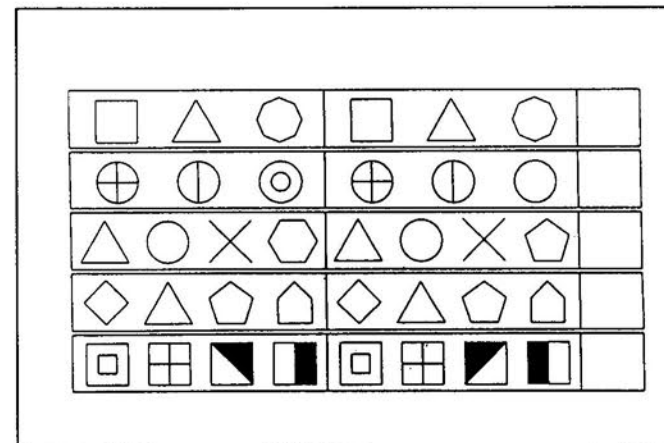
【指導のポイント】

色をぬる前に、まず形を線で書かせて下さい。その際、点の位置をしっかり確認させましょう。

1 2

図形／同図形発見①

A 7



【問題】

左側と右側に、同じ形が同じ順序で並んでいるものはどれですか。右はしの箱の中に、赤で○を書いて下さい。

【解答】

1 番上、上から 4 番目

【指導のポイント】

この問題では、「同じ形」「同じ順序」という2つの条件を同時に満たすものをさがさせます。具体的なものや最初の問題を例として、説明してあげて下さい。まず、問題の意味を正しく理解させることが大切です。

解答するときには、左右を1つずつ注意深く見比べさせて下さい。

13 図形／同図形発見②

A7

3	4	5	3	5	6		
め	が	ね	め	か	ね		
1	7	3	8	1	7	3	8
く	れ	よ	ん	く	れ	ん	よ
春	夏	秋	冬	春	秋	夏	冬

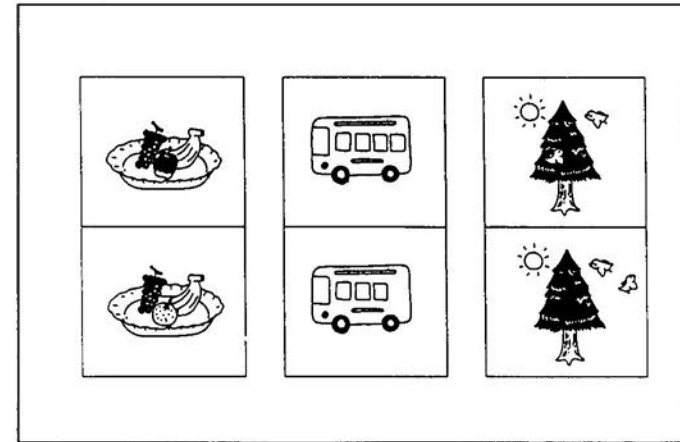
【問題】
 左側と右側に、同じ字（数字、ひらがな、漢字）が同じ順序で並んでいるものはどれですか。
 右はしの箱の中に、緑で○を書いて下さい。

【解答】
 上から3番目

【指導のポイント】
 この問題では、「同じ字」「同じ順序」という2つの条件を同時に満たすものをさがさせます。具体的なものや最初の問題を例として、説明してあげて下さい。まず、問題の意味を正しく理解させることが大切です。
 解答するときには、左右を1つずつ注意深く見比べさせて下さい。文字を読めると、早合点してまちがえる場合があります。

14 図形／異図形発見①

A7



【問題】
 下の絵は、上の絵とどこかが違います。
 違っているところがよくわかるように、下の絵に、青で○をつけて下さい。

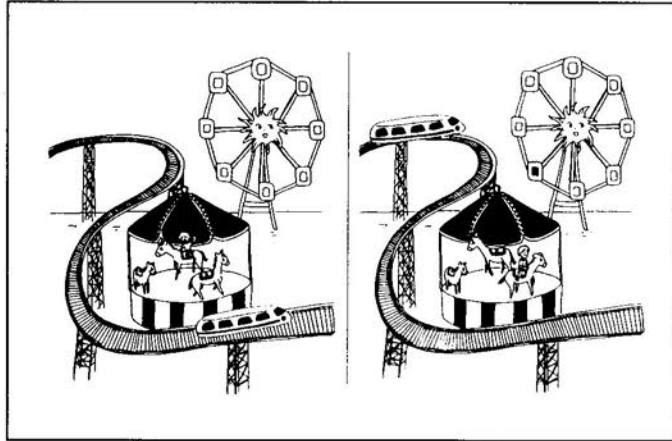
【解答】
 (左) → みかん (上の絵では、りんご)
 (まん中) → バスの窓 (上の絵では、窓が4つ、下の絵は3つ)
 (右) → 下側の小鳥 (上の絵では、木にとまっている)

【指導のポイント】
 最初はしっかり観察させて、確実に違いを見つけさせて下さい。絵を構成している部分を、1つずつ、「○○は、どうかな」と上下で見比べるように指導するとよいでしょう。

15

図形／異図形発見②

A7



【問題】

右の絵は、左の絵と違うところが4つあります。
違っているところがよくわかるように、右の絵に、茶色で○をつけて下さい。

【解答】

(左の絵と右の絵で違う箇所)
観覧車の箱のもよう
ジェットコースターの位置
メリーゴーランドの馬(2カ所)

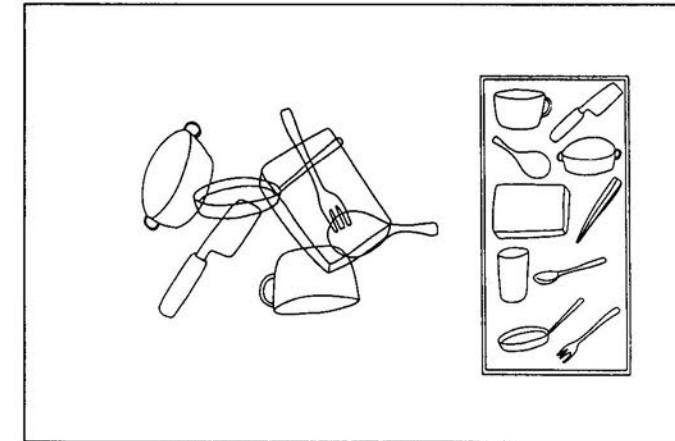
【指導のポイント】

最初はしっかり観察させて、確実に違いを見つけさせて下さい。絵を構成している部分を、1つずつ、「○○は、どうかな」と左右で見比べるように指導するとよいでしょう。

16

図形／重ね図形①

A7



【問題】

左の絵をよく見て下さい。いろいろなものが重なっていますね。
1. 右の枠の中で、左の絵の中にあるものを選んで、だいで○をつけて下さい。
2. ○をつけたもの(左の絵の中にあるもの)はいくつあるか、数えて下さい。

【解答】

1. コップ、ほうちょう、しゃもじ、なべ、まないた、フライパン、フォーク
2. 7(つ)

【指導のポイント】

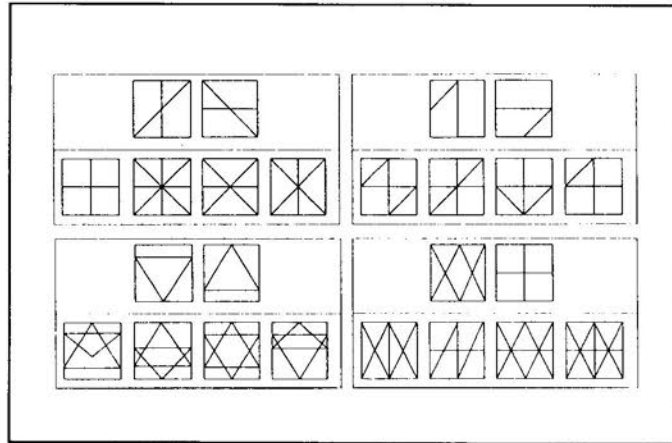
まず、左の絵をよく観察させて下さい。すぐに形をみつけられるようであれば、見つけた形を指でなぞったり、別々の色で書いてみて、右の枠の絵に○をつけさせるとよいでしょう。

形をみつけにくいようでしたら、右の枠の形があるかどうか、1つずつ、左の絵で確かめさせて下さい。

17

図形／重ね図形②

A7



【問題】

この問題のもようは、全部透き通った紙に書いてあります。
 (四角のわくの中の) 上の段の左のもようを、右のもようの上に重ねたら、どんなもようができるでしょうか。
 下の段から選んで、緑の○をつけて下さい。

【解答】

(左上) → 左から2番目 (右上) → 左はし
 (左下) → 左から3番目 (右下) → 右はし

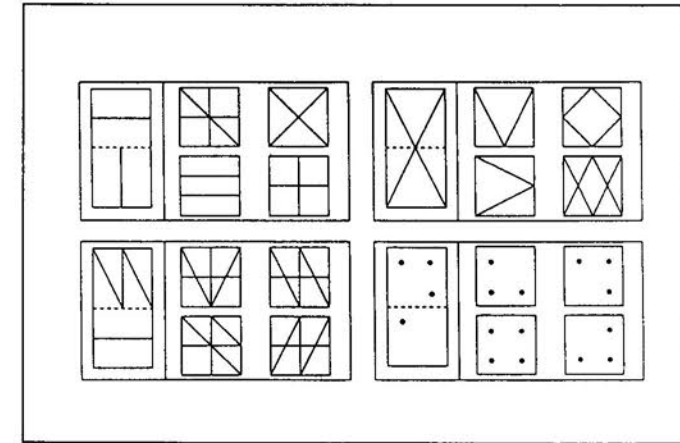
【指導のポイント】

子どもにとっては、とてもむずかしい問題です。まずは、透明の下敷きや教具などを使って、実際に2つの絵や模様を重ねて見せてあげて下さい。重ねる前と、重ねた後の様子をよく観察させて、問題の意味をしっかりと理解させましょう。

18

図形／重ね図形③

A7



【問題】

この問題のもようは、全部透き通った紙に書いてあります。
 (四角のわくの中の) 左側の長方形の紙を、まん中の点線で上に折ったら、どんなもようができるでしょうか。
 右側から選んで、紫の○をつけて下さい。

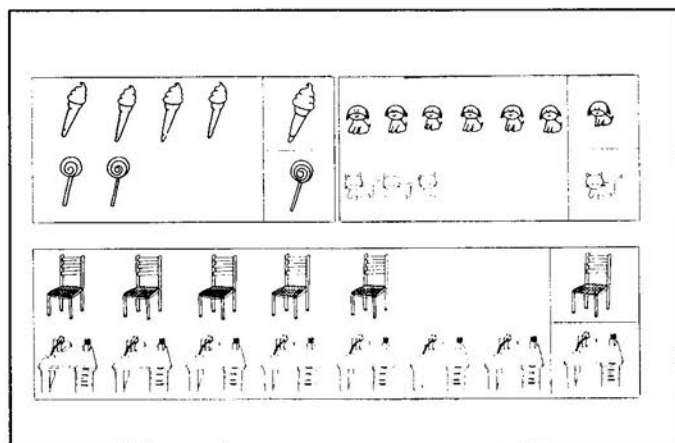
【解答】

(左上) → 右下 (右上) → 左上
 (左下) → 右上 (右下) → 左下

【指導のポイント】

子どもにとっては、とてもむずかしい問題です。まずは、透明の下敷きや教具などを使って、実際に2つの絵や模様を折って重ねて見せてあげて下さい。前のページの問題とは、重ねかたが違うので、注意させて下さい。

重ねる前と、重ねた後の様子をよく観察させて、問題の意味をしっかりと理解させましょう。



【問題】

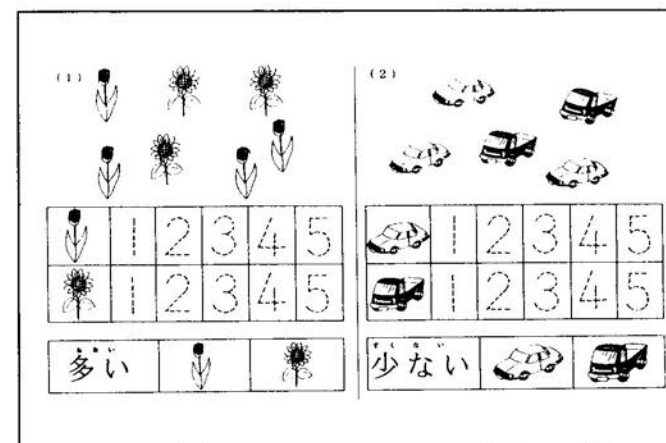
数が多いのは、どちらでしょうか。
2種類の絵を、1つずつ線でむすんで、考えてみましょう。
数が多い方の絵に、黄色で○をつけて下さい。

【解答】

(左上) →ソフトクリーム (右上) →犬
(下) →つくえ

【指導のポイント】

今回は、1つずつ線でむすんで対応させて、数を比較する練習です。1対ずつ
しっかり線でむすばせて、残ったほうが数が多いことを確認させて下さい。



【問題】

- チューリップとひまわりの数を比べましょう。
青の○をつけながら、チューリップの数を数えて下さい。数えたら、青でその数(数字)をなぞって書きましょう。
黄色の○をつけながら、ひまわりの数を数えて下さい。数えたら、黄色でその数(数字)をなぞって書きましょう。
チューリップとひまわりで、数が多いほうの絵に、赤で○をつけて下さい。
- 自動車とトラックの数を比べましょう。
緑の○をつけながら、自動車の数を数えて下さい。数えたら、緑でその数(数字)をなぞって書きましょう。
黄色の○をつけながら、トラックの数を数えて下さい。数えたら、黄色でその数(数字)をなぞって書きましょう。
自動車とトラックで、数が少ないほうの絵に、赤で○をつけて下さい。

【解答】

- チューリップ →4、 ひまわり →3、 多い→チューリップ
- 自動車 →3、 トラック →2、 少ない→トラック

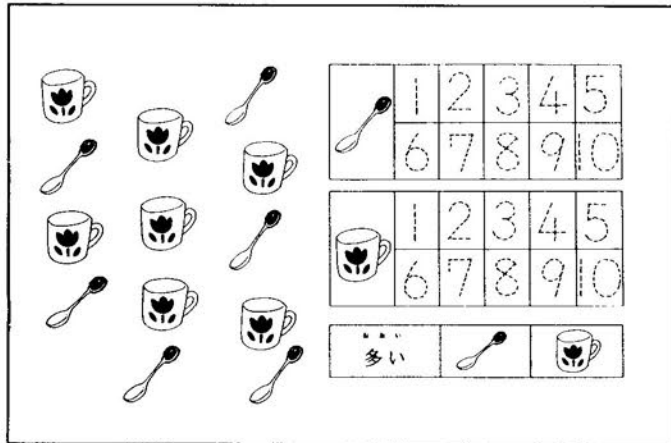
【指導のポイント】

同じものをさがして、しっかり数を数えさせましょう。数え忘れがないように、
左上から順番に、しるしをつけながら数える練習をさせて下さい。

21

数・量／数の多少③

A7



【問題】

コップとスプーンの数比べましょう。
 青の○をつけながら、コップの数を数えて下さい。数えたら、青でその数（数字）をなぞって書きましょう。
 黄色の○をつけながら、スプーンの数数を数えて下さい。数えたら、黄色でその数（数字）をなぞって書きましょう。
 コップとスプーンで、数が多いほうの絵に、赤で○をつけて下さい。

【解答】

コップ →7、 スプーン →6、 多い→コップ

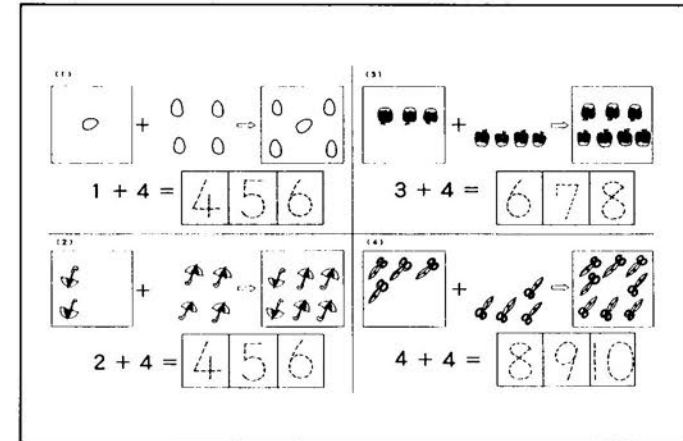
【指導のポイント】

同じものをさがして、しっかり数を数えさせましょう。数え忘れがないように、左上から順番に、しるしをつけながら数える練習をさせて下さい。

22

数・量／たし算①

A7



【問題】

答えの数（数字）を選んで、なぞりましょう。
 1. たまごが1個あります。後で、4個買ってきました。たまごは、全部で何個になりましたか。
 2. かさが2本あります。後で、4本持ってきました。かさは、全部で何本になりましたか。
 3. りんごが3個あります。後で、4個もらいました。りんごは、全部でいくつになりましたか。
 4. はさみが4本あります。後で、4本買ってきました。はさみは、全部で何本になりましたか。

【解答】

1. 5（個）
2. 6（本）
3. 7（個）
4. 8（本）

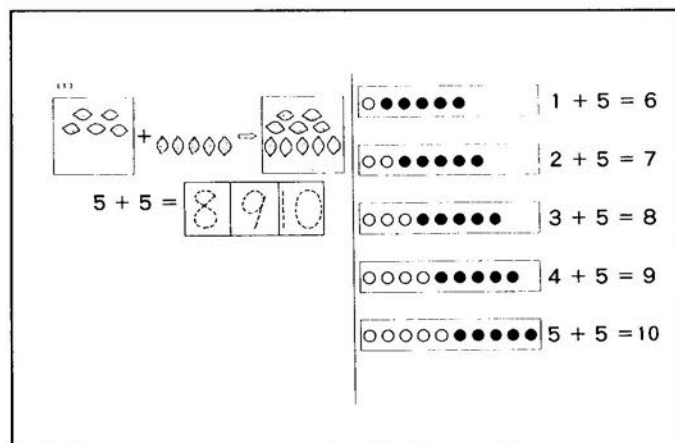
【指導のポイント】

中期（6～10号）では、答えが10までの「もの」のたし算を、たす2からたす9まで順に学習します。問題ページの絵をよくみて、変化の前後のもの数をしっかり数えさせて下さい。

絵の下のたし算の式は、答えあわせの後で声を出して読んであげて下さい。

25 数・量／たし算④

A7



【問題】

答えの数（数字）を選んで、なぞりましょう。

- レモンが5個あります。後で、5個もらいました。レモンは、全部でいくつになりましたか。
- （たす5のまとめ）
○と●の数を数えて、たし算の式を読んでみましょう。

【解答】

- 10（個）
- （省略）

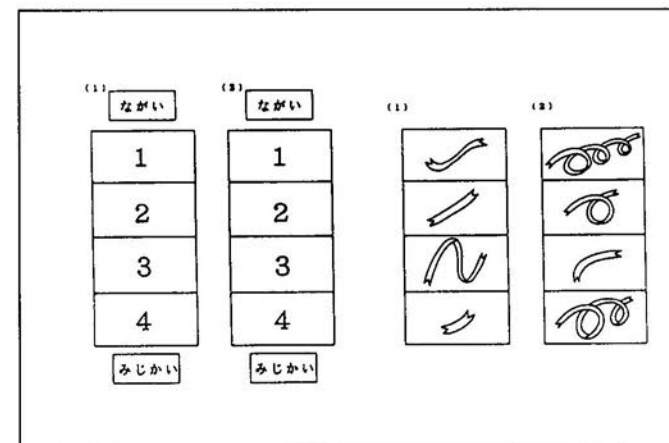
【指導のポイント】

問題文は1文ずつ読んで、対応するものの数を絵で確認させてから、次の文へすすんで下さい。答えを選ぶ時には、もとの数をひとまとまりにして数えた後、ふえた分を意識させながら続きを数えさせるとよいでしょう。（「イチニサンシゴ、ロクシチハチクジュウ」というように。）

まとめの部分では、ドッツで数を確認しながら、たし算の式を復唱させて下さい。その後で式を読んであげて、こどもに答えをいわせてみるとよいでしょう。クイズのようにすばやく楽しくやってあげて下さい。くりかえしやることで、式からも（絵や問題文がなくても）「たす○」の意味が理解できるようになります。

26 数・量／長さ比べ①

A7



【問題】

リボンの長さを比べましょう。

右側のリボンの絵のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。

左側の数字のかいてある箱に、切りとったリボンのカードを、上から、長い順にはって下さい。

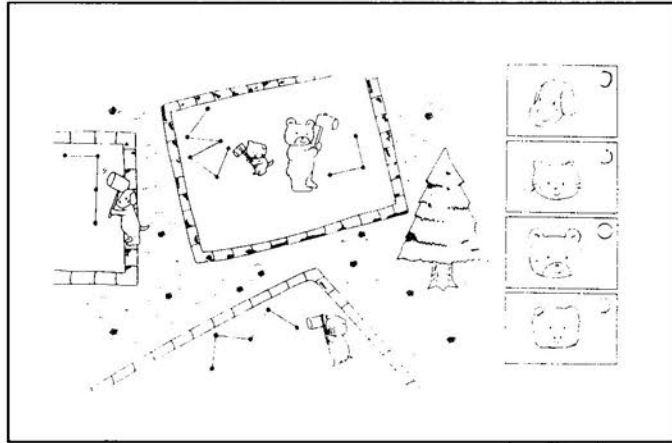
【解答】

（右側のカードを、長い順に上からならべると）

- 上から3番目、一番上、上から2番目、一番下
- 一番上、一番下、上から2番目、上から3番目

【指導のポイント】

実際に、リボンなどで同じようなものを作って、比べてみるとよいでしょう。まがっているものや、ねじれているものは、いったんのばして比べさせましょう。



【問題】

動物たちが、くいを打って、ロープをつないでいます。ロープの長さを比べましょう。

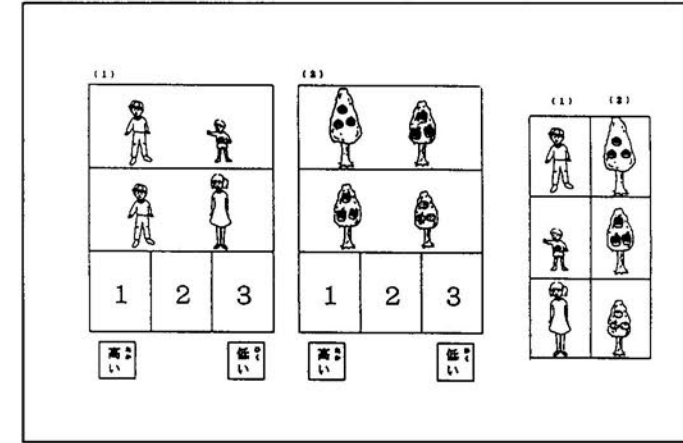
1. ロープが1番長いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、黄色でぬって下さい。
2. ロープが2番目に長いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、だいでぬって下さい。
3. ロープが3番目に長いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、青でぬって下さい。
4. ロープが1番短いのは、誰でしょうか。右側の絵の中の○を、緑でぬって下さい。

【解答】

1. ねこ
2. ぶた
3. いぬ
4. くま

【指導のポイント】

長さを数で表して比べる問題です。それぞれの長さを、基準となる長さのいくつ分であるかを答えさせてから、順番を考えるように指導して下さい。



【問題】

1. 帽子をかぶっている男の子と、帽子をかぶっていない男の子では、帽子をかぶっている男の子のほうが背が高いですね。帽子をかぶっている男の子と、女の子では、女の子のほうが背が高いですね。ではこの3人を、背の高い順に並べてみましょう。

右側の人の絵のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、背の高い順にはって下さい。

2. 栗の木とりんごの木では、栗の木のほうが高いですね。みかんの木とりんごの木では、りんごの木のほうが高いですね。ではこの3本を、高い順に並べてみましょう。

右側の木のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、高い順にはって下さい。

【解答】

(右側のカードを、高い順に左からならべると)

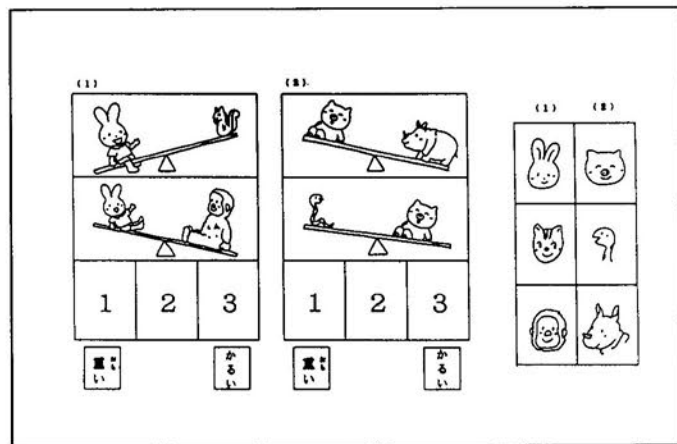
1. 女の子、帽子をかぶっている男の子、帽子をかぶっていない男の子
2. 栗の木、りんごの木、みかんの木

【指導のポイント】

3つのものを間接的に比べる問題です。最初なので、実際に絵を並べて比べさせて下さい。

29 数・量／三者比較②

A 7



【問題】

- うさぎとりすとでは、うさぎのほうが重いですね。うさぎとゴリラでは、ゴリラのほうが重いですね。ではこの3匹を、重い順に並べてみましょう。
右側の動物の顔のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、重い順にはって下さい。
- へびとさいとでは、さいのほうが重いですね。へびとぶたでは、ぶたのほうが重いですね。ではこの3匹を、重い順に並べてみましょう。
右側の動物の顔のカードを、はさみで切りとって、1枚ずつ切り離しましょう。左側の数字のかいてある箱に、切りとったカードを、左から、重い順にはって下さい。

【解答】

(右側のカードを、重い順に左からならべると)

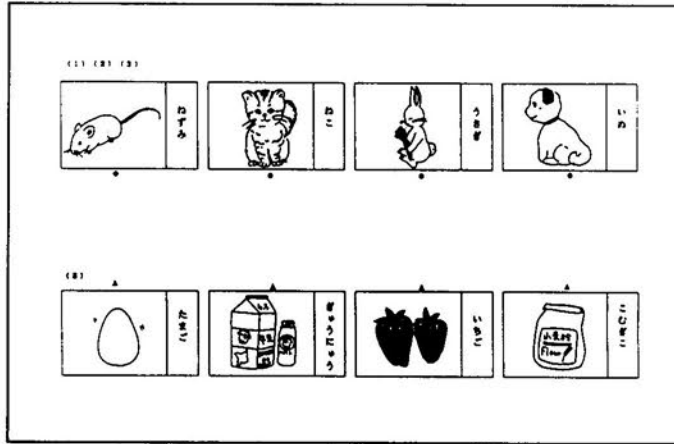
- ゴリラ、うさぎ、りす
- さい、ぶた、へび

【指導のポイント】

3つのものの重さを間接的に比べる問題です。シーソーなどで実際に体験してみるとよくわかるでしょう。

30 記憶 / お話の記憶①

A 7



【問題】（絵を見せながらお話を読んで、そのあと質問してあげてください。）

動物村の幼稚園では、きょう、みんなでケーキを作ります。幼稚園のみんなが先生にたのまれたケーキの材料を持って、次々とやってきました。

最初に来たのは、ネコさんでした。ネコさんは、たまごを持ってきました。

次に来たのは、イヌさんです。イヌさんは、牛乳を持ってきました。それから、ネズミさんが来ました。ネズミさんは、小麦粉です。最後に来たのは、ウサギさんでした。ウサギさんは、ケーキの上にかざるいちごを持ってきました。

先生に教えてもらいながら、みんなで、丸い大きなケーキをやきました。とてもいいにおいがしています。ケーキの上にかざるいちごをかざってから、みんなで分けて食べました。先生も、

「とてもおいしくできましたね。」

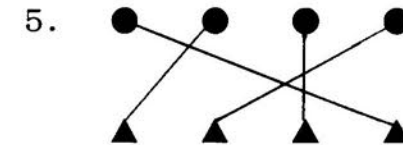
と、ほめてくれました。

【問題】

1. 最初に幼稚園に来たのは、誰ですか。その絵に、赤の○をつけて下さい。
2. 二番目に幼稚園に来たのは、誰ですか。その絵に、黄色の○をつけて下さい。
3. 三番目に幼稚園に来たのは、誰ですか。その絵に、茶色の○をつけて下さい。
4. 最後に幼稚園に来たのは、誰ですか。その絵に、青の○をつけて下さい。
5. 動物たちは、それぞれどんな材料をもってきましたか。●と▲を線でむすんで下さい。

【解答】

1. ネコ
2. イヌ
3. ネズミ
4. ウサギ



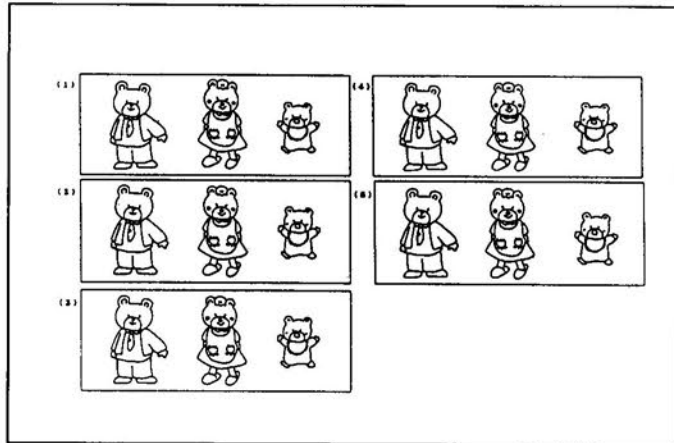
【指導のポイント】

問題のお話は、子どもが自分で正しい答えを見つけるまで、（答えあわせをかねて）何回も読んであげてください。子ども自身に、集中して聞こうという意識がでてきます。

お話の記憶は、いろいろな問題を解くために不可欠なものです。日頃からいろいろな本を読み聞かせたり、楽しいお話をしたりして、聞く練習を続けて下さい。

3 1 記憶 / お話の記憶②

A 7



【問題】（絵を見せながらお話を読んで、そのあと質問してあげてください。）

むかしむかし、森の中に、三匹の熊の親子が、住んでいました。お父さん熊とお母さん熊と赤ちゃん熊の三匹です。

ある朝、お父さん熊と赤ちゃん熊は散歩に出かけました。お母さん熊は、できたてのスープをお皿に入れて、朝ごはんの用意ができたので、お父さん熊たちを呼びに家を出ました。

ところが、ちょうどその間に、ひとりの女の子が、三匹の熊の家にやってきました。そして、いいにおいのする、食堂に入りました。テーブルの上には、お父さん熊の大きなお皿とお母さん熊の中くらいのお皿と赤ちゃん熊の小さなお皿に、おいしそうなスープが入っていました。女の子は、一番小さなお皿のスープを全部飲んでしまいました。

お腹が大きくなったので、女の子は、暖炉の前の椅子に座って、ちょっと休憩しようと思いました。まず、お父さん熊の一番大きな椅子に座りましたが、クッションがかたすぎて、おしりが痛い。次に、お母さん熊の中くらいの大きさの椅子に座りましたが、クッションが柔らかすぎて、からだが沈んでしまう。赤ちゃん熊の一番小さな椅子に座ると、ちょうどいい硬さのクッションでした。そこで、小さな椅子に座って、気持ちがいいので椅子を揺らしていると、ポキッと椅子の足が折れて、女の子はドスンと床に落ちてしまいました。

それから、女の子は二階に上がって行きました。すると、突き当たりの大きな部屋に、三つのベッドがきちんと並んでいます。部屋の一番奥には赤ちゃん熊の小さなベッド、真ん中にはお母さん熊の中くらいの大きさのベッド、部屋の入り口近くにはお父さん熊の大きなベッドがありました。

女の子は大きなベッドから順番に寝てみましたが、大きなベッドは枕が高すぎ

て寝心地がよくありません。真ん中のベッドも、まだ、枕が高いようです。一番小さなベッドに寝ると、枕の高さもちょうどよくて、気持ちよくなり、そこで、女の子はスヤスヤ眠ってしまいました。

いっぼう、三匹の熊の親子は、急いで家に戻ってきました。お腹がすいていた赤ちゃん熊が、一番さきに食堂に入りました。そして、自分のスープ皿にスープが入っていないのを見て、大きな声で泣きだしました。

【問題】

1. 女の子は、誰のスープを飲んだのでしょうか。緑の○をつけて下さい。
2. 女の子は、最初に誰の椅子に座りましたか。赤の○をつけて下さい。
3. 誰の椅子がこわれてしまいましたか。茶色の○をつけて下さい。
4. 二階の大きな部屋に三つのベッドがありました。部屋の入り口の近くにあったのは誰のベッドですか。青の○をつけて下さい。
5. 三匹の熊の親子が家に帰ってきました。一番先に食堂に入ったのは誰ですか。茶色の○をつけて下さい。

【解答】

1. 赤ちゃん熊
2. お父さん熊
3. 赤ちゃん熊
4. お父さん熊
5. 赤ちゃん熊

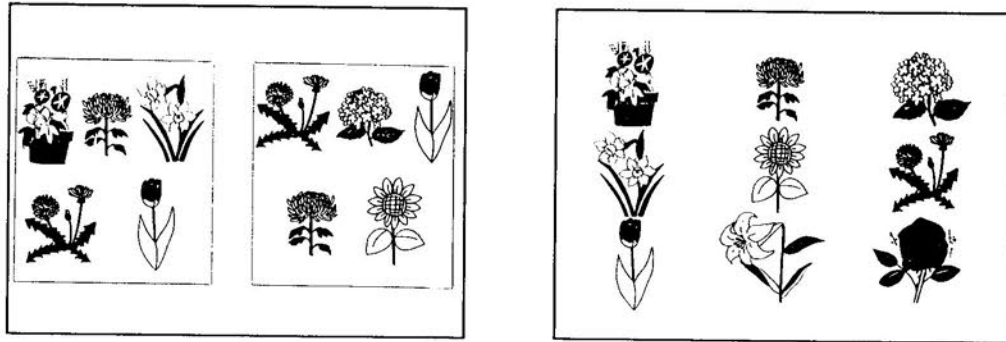
【指導のポイント】

絵を見ながら、お話を読んだり、聞いたりすることは、もちろんたいせつなことです。ただ、昔話や民話などでは、絵を見せないで読み聞かせる練習も必要です。言葉を聞いて、それを頭の中でイメージ化するという作業は、思考し、想像するのに、不可欠なことです。アニメや劇画ではなく、文章を読んでものごとを理解するためには、言葉をイメージ化する力が必要です。読み聞かせる時は、子どもたちの目を、閉じさせるとよいでしょう。集中して聞くことができます。夜、布団の中で、楽しいお話を聞かせてあげて下さい。（お話のカセットテープやCDでもいいでしょう。）

3 2 . 3 3

記憶／絵の記憶

A 7



【問題】

「左側と右側の両方にあるものを、覚えて下さい。」

(記憶用紙を20～30秒間見せた後、解答用紙をわたして下さい)

「左側と右側の両方にあった絵は、どれでしょうか。
だいで○をつけて下さい。」

【解答】

きく、たんぽぽ、チューリップ

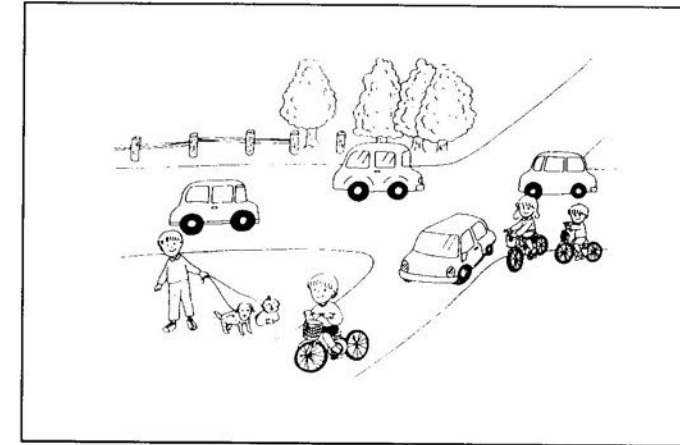
【指導のポイント】

記憶の練習をすることで、「注意してよくみる力」も育ってきます。ゲーム感覚で楽しく学習を進めて下さい。

3 4

記憶／数の記憶

A 7



【問題】

「何がいくつあるか、よく見て覚えましょう。」

(記憶用紙を10～20秒間見せた後、質問して下さい。解答用紙は、ありません。)

1. 自動車は何台ありましたか。答えて下さい。
2. 自転車にのっている人は何人いましたか。答えて下さい。
3. イヌは何匹いましたか。答えて下さい。

【解答】

1. 4台
2. 3人
3. 2匹

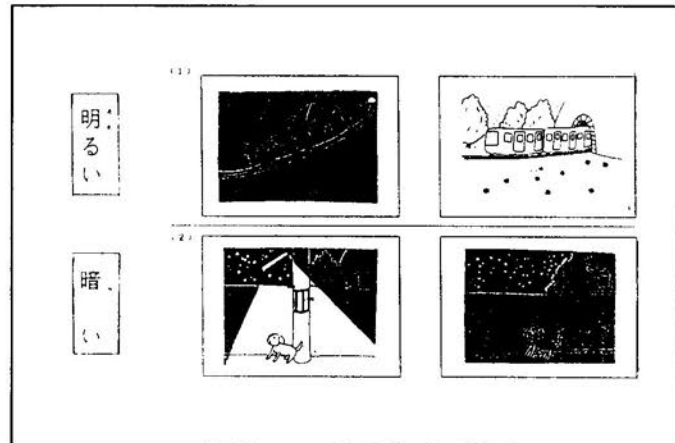
【指導のポイント】

今回は、記憶した内容を口頭で答える練習です。

この程度の数であれば、すぐに数を読み取れるようにしたいものです。

時間内に記憶するのがむずかしいようであれば、(答合わせをかねて)何回もチラリと絵を見せてあげて下さい。

記憶の練習をすることで、「注意してよくみる力」も育ってきます。ゲーム感覚で楽しく学習を進めて下さい。



【問題】

(まず、漢字を読んで復唱させて下さい。「明るい」「暗い」)

「明るい」という字のほうに、黄色の○をつけましょう。

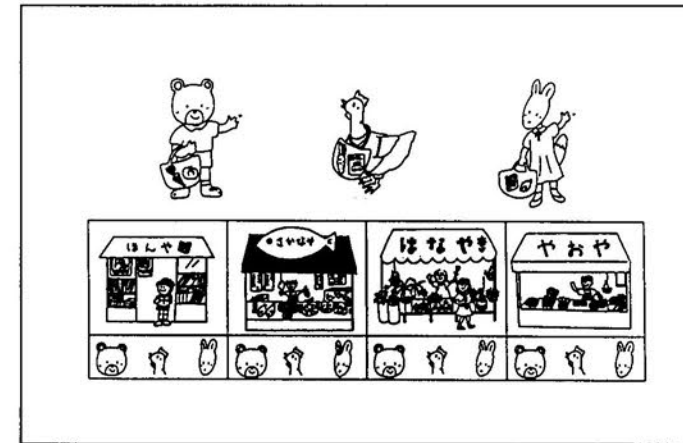
- 2つの絵では、どちらが明るいでしょうか。明るいほうに、黄色の○をつけて下さい。
- 2つの絵では、どちらが暗いでしょうか。暗いほうに、黄色の○をつけて下さい。

【解答】

- 右
- 左

【指導のポイント】

ふだん何気なく感じている「明るさ」について、考える機会を作りました。身近な生活の中のいろいろな事象について、「なぜ、そうなるのだろう」と子どもに考えさせることは大切です。「科学する心」の芽を幼時期から育ててあげて下さい。



【問題】

かばんの中にはいつているものをよく見て、答えて下さい。

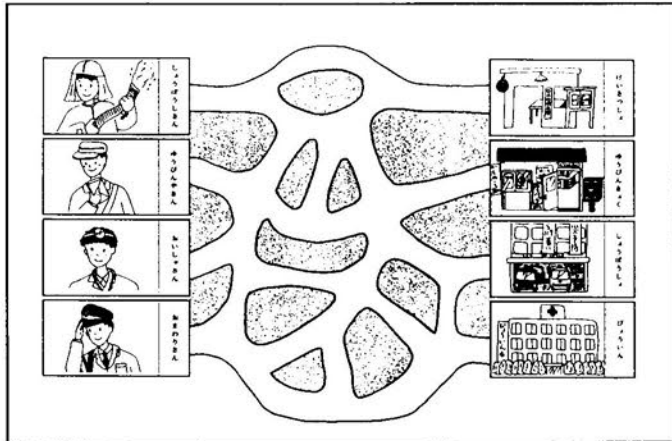
- くまさんは、どこへ買物に行きましたか。行った店を選んで、その下の箱のくまの絵に、赤の○をつけて下さい。
- にわとりさんは、どこへ買物に行きましたか。行った店を選んで、その下の箱のにわとりの絵に、黄色の○をつけて下さい。
- きつねさんは、どこへ買物に行きましたか。行った店を選んで、その下の箱のきつねの絵に、青の○をつけて下さい。
- くまさんとにわとりさんの両方が行った店は、どこですか。その店の絵に、茶色で○をつけて下さい。
- にわとりさんときつねさんの両方が行った店は、どこですか。その店の絵に、緑で○をつけて下さい。

【解答】

- 花屋、八百屋
- 八百屋、本屋
- 本屋、魚屋
- 八百屋
- 本屋

【指導のポイント】

かばんの中の品物を見て、2人が行った店を考える問題ですが、まず1人ずつ、行った店に○をつけてから、条件にあうものをさがすよう、指導して下さい。



【問題】

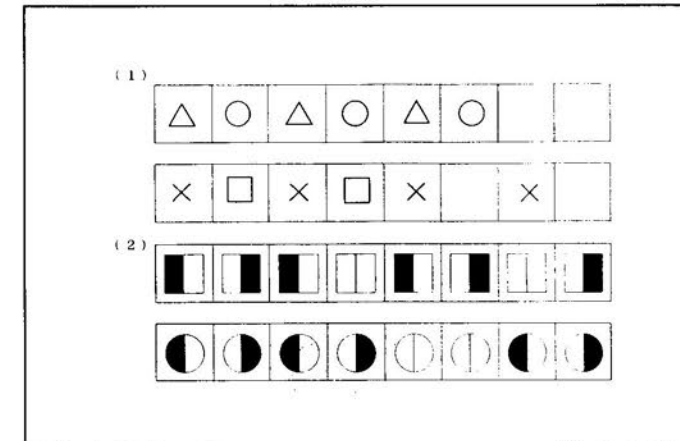
1. 病気やけがをなおしてくれる人は、どの人ですか。左から選んで、黄色の○をつけて下さい。その人が仕事をしている場所を右から選んで、左の絵と、黄色の線でむすびましょう。
2. 火事の火を消す人は、どの人ですか。左から選んで、赤の○をつけて下さい。その人が仕事をしている場所を右から選んで、左の絵と、赤の線でむすびましょう。
3. 悪いことをした人をつかまえたり、事件がおこらないように町を見回ったりする人は、どの人ですか。左から選んで、茶色の○をつけて下さい。その人が仕事をしている場所を右から選んで、左の絵と、茶色の線でむすびましょう。
4. はがきや手紙を届けてくれる人は、どの人ですか。左から選んで、緑の○をつけて下さい。その人が仕事をしている場所を右から選んで、左の絵と、緑の線でむすびましょう。

【解答】

1. お医者さん――病院
2. 消防士さん――消防署
3. おまわりさん――警察署
4. 郵便屋さん――郵便局

【指導のポイント】

こどもの生活で身近な職業と場所をとりあげています。このほかにも、どんな仕事があるか、話し合ってみましょう。



【問題】

1. 絵が順番に並んでいます。あいている所に、ちょうどよい絵を書いて下さい。
2. 絵が順番に並んでいます。うまくつながるように、あいている所に、黒で色をぬって下さい。

【解答】

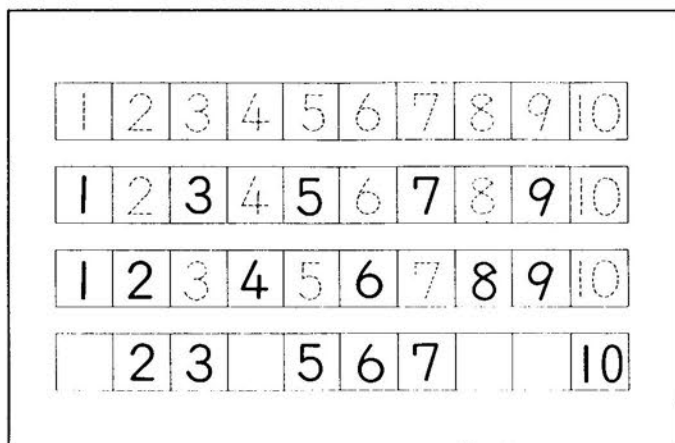
(省略)

【指導のポイント】

2種類の連続パターンです。「○、△、○、△、・・・」と声に出して、並んでいる順番を言わせてみるとよいでしょう。

39 その他／系列完成②

A7



【問題】

- 1から10まで、数字をなぞって書きましょう。
(書けたら、1から10まで、数えてみましょう。)
この中で、5より大きい数字に黄色の○をつけて下さい。
3. ぬけているところの数字を、なぞって書きましょう。
- ぬけているところには、どんな数字が入るでしょうか。数字を書いて下さい。
(言って下さい。)

【解答】

(省略)

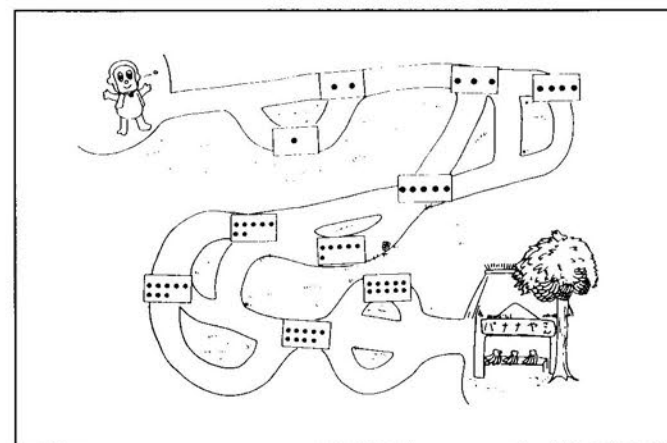
【指導のポイント】

数字の並びをしっかりと理解させましょう。数唱は、たし算の基礎になります。ドッツカードなどでも練習して下さい。

「○より大きい数」というときは、「○」は含まれないことも説明してあげて下さい。

40 その他／系列完成③

A7



【問題】

さるさんが、バナナ屋さんまででかけます。
道にあるドッツ(●)を、1から10まで順に通っていくように、赤で線をひいて下さい。

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

「イチ、ニ、サン、・・・」と声に出して数えながら、線をひかせるとういでしょう。